ライオン誌5月号 2006年（平成18年）4月20日発行
昭和33年12月19日付第3種郵便物認可
毎月1回20日発行第48巻第11号

THE Lion

IN JAPAN
Official publication
of Lions Clubs
International

May 2006

5

THEME 青少年

PICK UP ライオンズにおけるIT活用

ROAR 331複合地区

第48巻第11号

We Serve

CONTENTS

INTERNATIONAL PRESIDENT'S MESSAGE

国際会長メッセージ

2005-06年度国際会長
アショク・メータ
Ashok Mehta

ライオンズクラブの使命は奉仕することにあり、会員はクラブの血脈です。05 - 06年度の国際プログラムはこのような認識に基づき、会員とクラブの増強を最優先課題に掲げています。

私たちの結束は、プラスワンの目標達成を目指し、会員増強に全力を傾けることによって立証されることになるでしょう。この目標を達成するためには、すべてのクラブ会長が1人以上の会員純増を果たし、あらゆる地区ガバナーが1つ以上のクラブ純増を達成しなければなりません。会員増強の重要性を更に強調するため、目標を達成した会員には、新しく魅力的なアワードも用意されています。

会員増強への終わりなき情熱

Our Passion to Grow Continues

《飛躍への情熱》

個々のクラブと国際協会全体の枠組みを強化するため、私たちはどのように取り組んでいるでしょうか?

確かに、会員純増の達成は容易なことではありません。だからこそ、会員の一人ひとりが可能な限り献身的かつ精力的に、この目標の達成に情熱を傾ける必要があるのです。最新の報告によれば、現在の会員数は合計130万7549人となっています。過去に比べて減少してはいるものの、新たに5万9313人の会員が確保されました。女性会員の増強も極めて重要ですが、本年度は2万262人の女性が加わり、その総数は世界中で22万4884人に達しています。これは間違いな

く明るい徴候であり、国際協会の将来にとって非常に喜ばしいことでしょう。女性がライオンズクラブへの入会を通して、次第に奉仕の機会を拡大していることは明らかです。また、彼女たちがクラブ、地区、国際協会の指導的な役割を引き受け、積極的に取り組んでくれていることを、私は誇らしく感じています。

更に会員増強の分野では、レオが在籍期間を終えた後で、ライオンズクラブに入会する事例が増加しています。彼らはレオクラブでの経験を通して、地域社会におけるボランティアの必要性を認識しています。こうした若者たちが、今後も他者への奉仕に取り組んでくれることは、まことに頼もしい限りです。彼らを招き入れた称賛すべきクラブは、会員増強への強い情熱を立証してくれました。

エクステンションの分野では、本年度は既に２９２の新クラブが結成され、現在世界中に４万５０３７のライオンズクラブが存在します。また、新たな42の支部を加えて、合計６６７のクラブ支部が、正規クラブの奉仕が行き届かない地域で人々の要請に応えています。更に、新世紀ライオンズクラブは現在１５６、学内ライオンズクラブは２３１に達しています。これらのクラブは、それまでボランティア活動への情熱を発揮出来なかった人々に、地域社会に奉仕する機会を与えています。

1905年に世界初の角膜移植が行われてからちょうど100年。これを祝してメータ会長は、2005年12月のライオンズ・アイバンク週間に最初の手術が行われたチェコのオロモウツ大学病院を訪問した

経験豊富な会員によって構成されるミッション30チームは、世界中で継続的に会員増強を支援しています。このチームの情熱は、国際協会の将来的な成功を大きく左右することになるでしょう。また、訓練を受けた公認ガイディング・ライオンも活躍し、その総数は４６７５人に達しています。彼らはライオンズが地域社会と人類の要請に応えることが出来るよう、クラブの能力強化に取り組んでいます。

ライオンズクラブ国際協会は、今後も新天地を切り開き続けることになるでしょう。私たちの世界的な家族には、本年度新たにカザフスタン、ソマリア、モルジブの３カ国が加わりました。その結果、現在１９７の国と地域で、「ウィ・サーブ」の精神が追求されています。この他にも、いくつかの地域で初のライオンズクラブの結成が模索され、国際協会では彼らを迎え入れる日を心待ちにしています。

クラブと会員の増強は、飛躍への情熱の根幹です。会員の一人ひとりが今後もたゆむことなく、この最大の目標を追求し続けてほしいものです。

青少年教育／性に関する科学的で具体的な知識を

「思春期の若者の健康と権利への投資は次世代に大きな利益をもたらす」

日本家族計画協会常任理事／クリニック所長・北村邦夫

イラスト／藤英毅

「いい言葉でしょう。まさに真実を言い表している」。今回タイトルに使わせてもらった『世界人口白書2003』の一文を示し、北村氏が言う。思春期を迎えた青少年に性に関する正確な知識と正しい判断力を持ち、より豊かで幸せな人生を歩んでほしい。クリニックの所長として診察や電話相談、また新聞や雑誌の記事や各地での講演を通じて、若者たちにメッセージを発信し続ける北村医師に、現代の高校生が抱える問題、彼らが置かれている現状について話を聞いた。

北村邦夫
1951年群馬県生まれ。自治医科大学卒業。㈳日本家族計画協会常務理事／クリニック所長。厚生科学審議会感染症部会委員。主な著書に『幸せのセックス　男の誤解　女の誤算』（小学館）、『ティーンズ・ボディブック』（扶桑社）、『親と教師のための性教育講座』（日本家族計画協会）、『ピル』（集英社新書）など。
http://www.jfpa-clinic.org/

青少年育成のための二つの車輪

——北村先生のクリニックでは、婦人科だけでなく「思春期外来」を開設されて、多くの思春期の子どもたちの性や体に関する相談や診療に当たっていらっしゃいますね。子どもたちが成長する過程で、性教育はこうあれば良いという考えをお聞かせください。

「性教育」と言うと、国も学校もあるいは家庭でも、ちょっと及び腰になりがちですよね。僕は青少年が健やかに育つためには、「教育」と「社会環境」という二つの車輪がバランス良く機能することが必要だと考えています。

まず、教育を通じて性や性感染症についての正しい知識を得ることで、理性と責任感を身につけること。僕たちが厚生労働科学研究班として04年に行った調査の中に「国民として性に関する事柄を知るべき時期」についてのアンケートがあるんですが、その結果では、「二次性徴*」「月経、射精などの体のしくみ」については小学校高学年くらいに知るべきだという回答が6割以上を占めています。「避妊法」「性感染症とその予防」「人工妊娠中絶」「コンドームの使い方」などは半数以上の人が義務教育の終わる頃までにと答えている。僕はこれらの回答に現れている国民の声は、非常にバランスが取れていると思います。国は国民の声に耳を傾けて政策に反映させればいい。これがきちんと成されれば若年齢化が懸念されている初交年齢も、遅らせることが出来るはずです。

もう一つは、悩んでいる青少年をサポート出来る社会環境作りです。「母子健康手帳」ってあるでしょう。あんなふうな「思春期健康手帳」を発行したらいいと思う。保険証を持ってこなくても、その手帳があれば無料で専門家に相談したり検診が受けられるの。コンドームやピルも無料で処方します。それが子どもたちのセックスを加速するとは思わない。「保険証がない、あるいはお金がないために診察出来なかった」「もし、あの時ピルを手に入れることが出来たなら中絶しなくてもよかったのに」という後悔を若者たちがしなくて済むような、社会的サポートです。

子どもたちを健やかに揺り起こそう

——先生は鹿児島第一ライオンズクラブが主催している地元高校でのエイズについての講演を始め、多くの中学や高校で講演をされていますね。

はい。将来を担う若者には、自ら幸福な人生を選択出来るようになってほしい。そのために、HIVを含む性感染症に感染しないで、望まない妊娠をしないで、というメッセージを込めて必要な知識や方法を伝えています。

妊娠は本来幸せなことですが、望まない妊娠は体にも心にも傷を残します。中絶にしても出産にしても大きな負担になります。そのリスクを負っているのは全面的に女性です。女の子には「男に任せているだけじゃ避妊は出来ないよ」って言ってます。妊娠は男の体には絶対に起きないんだから、避妊の主導権は女性が握ろう。コンドームを使いさえすれば避妊が出来ると思い込んでる子が多いね。確実な避妊のために女性はピル、性感染症予防に男性はコンドーム。これで男女がフィフティ・フィフティの関係を築けたことになる。

そうしたことは親や学校でも教えるべきです。避妊の仕方なんか教えたら、高校生の性行為に拍車をかけるんじゃないかと思われてるようだけど、科学的で具体的な教育が早い年齢から行われることで、行動を慎重にさせられるのです。

今はインターネットでは簡単にエロサイトに入れるし、あらゆる情報が氾濫しています。国はそんな中に子どもたちを放置したまま、依然として「寝た子を起こすな」という姿勢を崩していない。子どもたちはもう起きています。なのに正しい知識を与えられない、危険な状態なんです。

これからは「子どもたちを健やかに揺り起こそう」を合言葉に、学校教育、親の教育、子どもへの教育に当たっていかなくてはなりません。

＊思春期になってから現れる、心身各部に見られる男女の特徴

感染しない、まん延させない、責任ある行動

――エイズや性感染症については、講演でどのように話されるのですか。

HIVの感染経路には母子感染や薬物乱用の注射針の共用などもありますが、7割は性的行為によるものです。特に性感染症は、HIVに感染しやすくなる最大要因と言われています。

「エイズの前にクラミジアあり」という言葉があります。これは、クラミジアとエイズの主な感染経路がセックスであること、ほとんど自覚症状がないことといった類似点に加え、クラミジアを始めとする性感染症を放置するとHIVの感染率が高くなるという危険性を示したものです。感染には感染源、感染経路、感受性のある個体（感染しやすい体）の三つが必要なのですが、性感染症にかかると組織がもろくなって感受性が高くなるのです。例えば尖圭コンジローマ＊がある場合、感染率は11倍という数字も出ています。

講演では、感染がどれほど早く広まるかということを知らせるためのパフォーマンスをするんですが、まずは、生徒たちに周囲の3人を選んで握手をしてもらう。僕も3人を選んで握手をする。それからおもむろにこう言うんです。「会場内にいる唯一の性感染症の感染者が僕だと仮定しよう」と。「握手では感染することはないのだけれど」と前置きをした上で、僕と握手をした人だけに立ってもらう。当然、今立った人も別の3人と握手をしたわけだから、その人たちにも立ってもらう。あっと言う間に、500~600人いた生徒が全員立っちゃう。これが「性感染症ネットワーク」なんですよ。そこでもう一度全員に座ってもらって、今度は僕は手袋をして握手をする。手袋はつまりコンドームです。それだけでネットワークは成立しない。何度握手しても誰も立つ必要はない。

相手が性感染症に感染していることを知った上でセックスをする場合と、知らない場合を比べると感染率は10倍にもなるんです。自分や相手を知ることがいかに自分の身を守る

＊ヒト乳頭種ウイルスを病原体とする感染症で、外因部にいぼが出来、かゆみがあり熱を持つ

か。「私は彼が好きで、彼も私を愛しているから大丈夫」なんて思っている子もいるけど、そんな精神論はウイルスには通用しません。自分の行動に責任を持つこと、そしてコンドームを使えば、自分を守り、また何百人にも広がるような感染をストップ出来るということを知らなくちゃいけない。日本人はコンドームを避妊の道具としては認識しているけれども、性感染症予防のために使用するという意識が低いんです。

ＨＩＶに感染してしまったらウイルスを完全に死滅させることは出来ない。でも他の性感染症は治療出来る病気です。まずは感染しないようにコンドームを使うこと。感染してしまったらきちんと治療をすること。それがエイズのまん延を防ぐのにも、自分自身が悲しく辛い思いをしないで済むためにも非常に重要です。

現在ＨＩＶ感染者は地球上に４千万人います。１５０人に１人の割合です。生徒たちにはＨＩＶ感染は自分にも十分起こりうる問題としてとらえて行動してほしいと思っています。

エイズ拡大に現れる問題点

――社会的なシステムとしてはどうした問題がありますか。

この表（表１）を見てください。日本の若い人が置かれている立場の深刻さがこれに示されていると思う。10代の避妊や性感染症の検査・治療に掛かる経費ですが、他国が無料か格安なのに対して日本は全額個人負担。そして保険の適用を受けるためには、保険証が必要になります。

ある中学生の女の子から、体調がおかしいのだが妊娠しているかもしれないと、相談を受けたことがあります。診察を受けるにも、親には言えないから保険証がない。「お年玉を貯めてたお金があるから」と、自分で実費を払うと言う。今の日本の社会環境は青少年に大きな負担を強いているんです。

妊娠に限らず、性感染症や何か気になることがあって検査したくても、親に内証では病院に来られない。思春期の子どもなら特に、男の子も女の子も親には相談しにくいことがあるでしょう。そうこうして卵管をつまらせたりすれば、妊娠しにくくなって少子化にもつながる。少子化問題を掲げているのに、国のこうした態度はすごく矛盾を含んでいる。だから僕は冒頭で申し上げた「思春期健康手帳」があればいいと思うんです。

性感染症だって若い段階で予防や治療を徹底して行えば、感染を拡大させずに済むんですが、日本は若い人に対する社会的サポートをしないから、Ｇ７の中で唯一エイズ患者数が拡大し続けている。数字に表れているんです。医療費についても、ＨＩＶに感染してしまったら何億円も掛かるんです。それをなぜ予防に投入しないのか。こうして自国の若者の問題を放置しながら、一方で日本は世界第２位のＯＤＡ予算を拠出して途上国の人口問題やＨＩＶ感染を防ぐ支援をしてる。無料でピルやコンドームを配ってる。

ＨＩＶ感染は日本では今でこそ男性の感染者の方が多いけど、間違いなく女性の病気になっていきます。

表1　10代のためのリプロダクティブ・ヘルスケアに掛かる経費

サービス	スウェーデン	フランス	カナダ	イギリス	アメリカ	日本
公的クリニックの利用	無料	無料	無料	無料	たいてい無料	全額個人負担、避妊以外は保険が適用される
開業医の利用	無料	全額個人負担：保険で8割は返る	無料	無料	全額個人負担、保険の内容によって返戻に差がある	全額個人負担、避妊以外は保険が適用される
ピルの処方	最初の周期は無料、その後、1周期ごとに1〜3ドル	クリニックでは無料、薬局では1周期1〜7ドル	最初の周期は無料、その後1周期ごとに3〜11ドル	無料	クリニックでは無料か格安、薬局では1周期ごとに5〜35ドル	全額個人負担、クリニックにより異なるが1周期ごとに20〜50ドル

（The Alan Guttmacher Institute: Teenage Sexual and Reproductive Behavior in Developed Countries, 2001/日本は北村邦夫氏による）

それは性器の構造の違いによるもの。男性器が包皮で保護されているのに対し、膣は性器結合や射精された精液を受け入れる場としてだけでなく、直径10センチにもなる赤ちゃんが生まれ出てくる産道の役割を果たすために無数のひだが密生していて表面積が広くなっている。当然ＨＩＶにも感染しやすいわけです。サハラ砂漠以南のアフリカ諸国ではエイズ患者の57％が女性で占められ、しかもその大半が若い世代となっています。女性の問題だということは、次世代に影響を及ぼす問題だということです。

お節介おばさん、おじさん求む

――青少年が明るい次世代を築いていくために、ライオンズクラブはどのようにかかわることが出来ると思いますか。

ライオンズは、よく駅前清掃とかしてるでしょう。そういう時、道行く子どもたちに「元気？」なんて声を掛けてほしい。全国で日常的にそれがされたら、もしかしたらおもしろい変化が生まれるかもしれない。

僕はホームページでコラムを書いているんですが、その第99話が「お節介おばさん、おじさんを求む」というもの。近隣の人とかかわるチャンスが多い若者は、犯罪率が低いだけでなくて、性交開始年齢も遅れることが分かっているんです。大人が関心を持って子どもに目を向けているのが分かると、子どもたちは否応なく自分の行動を律するようになるんです。僕たちが厚生労働科学研究班として行った調査でも、「あなたが行動や考えで影響を受けたのは」と「初交年齢」のクロス集計を見ると、「近隣の人々」と答えたグループが最も初交年齢が遅く、逆に早めていたのが「インターネット」という結果でした。

僕が育った田舎なんかあちこちに近所の大人の目があって、彼女が出来ても地元では手をつないで歩けないという窮屈さもあったけど、「あのおっちゃんの信頼を裏切っちゃいかん」っていう気持ちも生まれた。だからライオンズの皆さんは、昔はあちこちにいた「お節介おばさん、おじさん」になって頂きたいです。

それから、ちょっと青少年教育からは外れてしまうんですが、ライオンズには日本の少子化問題にぜひかかわってほしいと思います。メンバーには会社の社長さんとか多いでしょう。そういう人は、会社の時間外労働を極力減らすという形での少子化問題に貢献して頂きたい。

例えば、フランスは週38時間労働が定められていて、これを超えるとペナルティーを課せられるんです。これに比べて日本は週40時間。更に月の時間外労働が50時間とかね。夜遅くに電車に乗ると、疲れたサラリーマンがたくさんでしょう。これから帰宅して子作りって様子じゃない。少子化問題を解決するには子どもが生まれてからの育児をしやすい環境整備も大切だけど、まずは子どもが生まれなくちゃ。

パートナーとの日常的なコミュニケーションが取れていない人ほどセックスレスになるという調査結果もあります。避妊や性感染症、将来設計とか、とにかく男女間のコミュニケーションを高めていくことが大事だと思う。ライオンズの社長さんたちは、社員の帰宅時間を早くして、「もっとコミュニケーションを取ろうよ」と働き掛けてください。

そして、青少年にはやはり教育面で寄与して頂きたい。「思春期の若者の健康と権利への投資は、次世代に大きな利益をもたらし」ますから、ライオンズには子どもたちが健康な生活を送るための正しい選択が出来るように「投資」してほしいですね。若い人への教育こそが、未来へのワクチンなんです。鹿児島第一ライオンズクラの活動はまさにこれだと思います。講演会ももちろんいいんですが、これは時間も人数も限られるものだから、僕の書いた本を寄贈して頂くのもいい（笑い）。

「ああ、あの時ライオンズが教えてくれたからエイズにならないで済んだな」となれば、これはその子たちにとって大きな財産です。「よし、今度はおれたちの番だ。あのおじさん、おばさんたちのために働こう」というように、将来の日本に大きな利益をもたらしていくでしょう。

国際理事だより

■国際理事
伏見　龍
（神奈川県・横浜みなとマリン）

ライオンズの将来はあなたの「手中」にある

皆様にこの原稿をお読み頂く頃、年次大会を終了された各地区ガバナーは「やれやれ長い1年だったが、自分なりに努力し成果が上がった」と、胸をなで下ろしているだろうか。国際協会ではボストン国際大会に向けて、ハイピッチで準備が進められている。

今年度、メータ国際会長は「プラスワン」を掲げ、地区内で1クラブ以上の結成、クラブは純増1人以上を世界に発信。またライオンズ国を200カ国にを目標に、モルジブ共和国など3カ国を加え197カ国へ拡大された。

注目される中国・深圳では、現在68クラブ、2042人にまで拡大。今期は沙地区ガバナーも任命され、年度末までには更に10クラブが結成、約2500人にならんとする勢いである。また北京には国際協会駐在員事務所が新設され、新クラブも結成されると聞く。

今回の私の道程は、3月18日にオークブルックの国際本部で、本年度のアカデミー賞審査に国際理事会PR委員として出席、450件の申請の中から15カテゴリーの審査を2日間かけて行った。シカゴは前日まで雪で、肌を刺すように寒かった。シカゴからは16時間の空の旅を経て、理事会が開催されるスロベニアのグランドホテル・ベルナルデインにようやく到着。すぐ後ろに海を抱きクロアチア半島を臨む、夏は最高のリゾート・ホテルである。

さて、23日からいよいよ国際理事会の始まりである。今回は7月のボストン大会に上程される議題が審議される大変重要な会議である。前回の倍以上の議題が提出され、積み残しのないよう朝から深夜までの強行軍だった。

中でも特に重点が置かれたのは、七つある会則地域を五つに、国際理事33人を15人に削減し、地域理事を会員数5万人に1人の割合で23人を選び、理事会を二重構造にする問題である。理事会は年に4回開催、地域理事は2回出席する。国際理事の任期は3～4年、委員会数を現在の8から6に凝縮し、委員は3～4人とする等である。

他に、11年の国際大会は3候補地の中から、初めての開催地であるシアトルがダントツで選ばれた。ボストン大会には現在8600人が登録されており、同時期の香港大会を上回っている。会員減少に対しては、若い人たちや女性をターゲットにしたプログラムが新しく加えられ、例えば「女性サミット」や若者を引きつけるためにウェブサイトで直接、国際会長、副会長と対話が出来るといった新企画もある。会則の見直しにより、地区分割や再編成等がしやすいようになる。複合地区のあり方や、地区ガバナーらリーダーのトレーニングやセミナー、MERL委員会の見直し、学習センター構想、会員増強サミット、また新クラブのエクステンション要員の新設など、将来展望の中、盛りだくさんの構想が討議された。

ジミー・ロス次期国際会長のテーマは「ウィ・サーブ」で、基本に返るとの決意を語っている。今回の理事会は今まで以上に果敢な意見の続出であった。それは創設一世紀を迎えようとする団体の守成の志であろう。草創期の気概を忘れずに進化し続け、挑戦を続けることこそが大切だ。常にメルビン・ジョーンズの創設時の精神で挑みたいものである。

ピックアップ
pick up

ＩＴの有効活用により ライオンズクラブの活性化を目指す

昨年10月、宮城県仙台市でライオンズーＩＴパワーアップ・フォーラムが開催され、全国から約２７０人が参加。アクティビティ、クラブ運営、災害時の情報伝達のテーマごとにブレーン・ストーミングを行い、最後に「ＩＴの活用によって、多様化する社会に対応し、広く世界に貢献するライオンズクラブの活性化を目指す」とのフォーラム宣言を採択した。次なるステップは、ここで話し合った内容をいかに実現するかだ。

ＩＴフォーラムでの討議を現実に

中島　皆さんは私が所属する330複合地区のＩＴ・ＰＲ情報委員であり、深見さんは330・Ｃ地区のインターネット委員長として、荘さん、小柴さんはライオン誌委員会のＩＴアドバ

■座談会出席者
荘英隆（330複合地区IT・PR情報委員／東京恵比寿ライオンズクラブ）
小柴登司（330複合地区IT・PR情報委員／神奈川県・横浜金港ライオンズクラブ）
深見秀雄（330複合地区IT・PR情報委員／埼玉県・大宮氷川ライオンズクラブ）
■司会
中島洋吉（ライオン誌日本語版委員／元地区ガバナー／東京柳橋ライオンズクラブ）

イザーとしてご活躍頂いています。また、仙台のITフォーラムでは実行委員会に加わっておられました。私もフォーラムに参加させて頂きましたが、皆さん真剣に討議され、とても有意義な時間を持てました。が、言いっ放しではなく、それを実現させることが大事だと思うんです。

仙台で開催されたライオンズITパワーアップ・フォーラム

荘　中島さんは副地区ガバナーとIT委員長を兼務されましたし、地区ガバナー時代にはホームページの内容充実やキャビネットからの連絡をEメールとファクス主体にして郵送を極力控える等の方針で、IT推進に積極的に取り組まれましたね。

中島　通信費の削減と共に、情報を迅速に伝えることが大事だと思いまして、やらせて頂きました。そうした場合に、Eメールという通信手段は非常に有効ですね。

深見　330-C地区では今期、全クラブに対してEメールのアカウントを発行しました。

小柴　B地区でも4年前にそれをやったんですが、当時は地区内のIT環境整備が不十分で、目に見えた効果は出ませんでした。

深見　実はC地区も、これが2回目なんです。「キャビネット文書のEメール送付用として使用するアドレス」と通知しているのですが、メール設定していないクラブがまだ結構多いです。

荘　スパム（迷惑メール）対策としてセキュリティ面を考えてなさったのでしょうか。ただ、IT化が進み、既にアドレスを持っているクラブが多く、複数のアドレスを使い分けて頂くのも難しいかもしれませんね。

深見　出来れば、キャビネットとの連絡用だけでもいいので、使ってもらいたいのですが。

中島　メールの他、ライオン誌への月例報告もオンライン（サバンナ）での提出率が全国平均で83％となっています。クラブのIT化はここにきて、かなり進みましたね。

小柴　当地区では今期、委員長を地区ガバナーが兼務するIT専門委員会をつくり、IT化推進を図りました。ガバナーが自ら先頭に立つことによって、クラブのIT環境整備が一気に進み、サバンナも浸透しました。この委員会は来期も継続の予定です。

中島　そこで、これを一歩進めて、身近な情報源として活用出来ないものか。いかがでしょう。

身近な情報源としてのIT活用

荘　ITのIは情報（インフォメーション）ですから、ある意味、最も基本的な問題ですね。身近なということでは、ホームページが一般的でしょうか。330-A地区のウェブサイト（www.lions330-a.org/）では「ホットニュース」という欄を設け

て、新着情報が入り次第、キャビネットで更新するようにしています。

深見　C地区でも、ホームページ(www.lionsclubs330c.gr.jp/)のトップに「キャビネットからの連絡・報告事項」という欄を作り、新しい情報を掲載しています。が、なかなか見てもらえないのが現状です。

小柴　地区のページを頻繁にチェックする人は、まずいないでしょうね。B地区も、もちろんホームページ(www.lions330-b.gr.jp/)は持っていますが、その点を考えて『週刊ライオン・ライフ』というメールマガジンを3年前から発行しています。

中島　「待ち」ではなく、「攻め」の姿勢ですね。

深見　しかし、週刊ですか？　大変でしょう。

小柴　それは大変ですよ。でも、テキストだけですからね。そこもメールマガジンの利点です。そう言えば、A地区ではサイトにPDF書庫というのがありましたね。

荘　はい、中島さんの期から始めて継続中です。そこにアクセスすれば、いつでもキャビネットから発信された文書が取り出せるようになっています。

クラブ、地区の運営におけるIT活用

中島　先ほど、サバンナ使用率の話をしましたが、こうしたものもクラブや地区にとって非常に便利なツールになっていると思うのですが。

小柴　サバンナは現在、ライオン誌専用版のほか、ライオン誌報告と地区報告を連動させたものが、10地区で稼働し、来期からは更に5地区で稼働する予定です。内容は地区ごとに異なりますが、データベースはライオン誌も含め同一です。従ってクラブとしては、地区とライオン誌の報告を1回で済ませることが出来、メリットは大きいと思いますし、キャビネットとしても集計の手間が大幅に削減されていると思います。

中島　地区版導入に当たっては、ご苦労もあったんじゃないですか。

深見　導入時はいろいろシステム上の問題もあり、確かに大変でした。が、導入地区によるサバンナ調整会議を開き、地区を超えて協力したことで、システムも安定してきましたし、他地区とのつながりも生まれ、非常に良かったと思っています。

荘　当地区には東京合同事務局と

東京合同事務局には地区の半数近い88クラブが入っており、情報伝達や事務的な面でキャビネットの大きな手助けとなっている
↓ホームページ
www.lions-club-ato.com/

ライオン誌事務所月例報告書送付状況

2006年2月報告（2006年3月16日現在）単位：%

地区	サバンナ	Eメール	郵送・Fax	未着
330 A	100.0	0.0	0.0	0.0
B	100.0	0.0	0.0	0.0
C	100.0	0.0	0.0	0.0
331 A	59.7	2.6	29.9	7.8
B	42.6	6.9	42.6	7.9
C	54.0	0.0	33.3	12.7
332 A	82.4	2.9	5.9	8.8
B	77.2	1.8	14.0	7.0
C	81.9	0.0	8.4	9.6
D	100.0	0.0	0.0	0.0
E	94.6	1.8	3.6	0.0
F	57.9	5.3	29.8	7.0
333 A	100.0	0.0	0.0	0.0
B	100.0	0.0	0.0	0.0
C	100.0	0.0	0.0	0.0
D	100.0	0.0	0.0	0.0
334 A	92.3	0.9	3.4	3.4
B	93.2	0.0	4.5	2.3
C	91.7	1.2	2.4	4.8
D	89.8	2.0	2.0	6.1
E	92.7	0.0	5.5	1.8
335 A	100.0	0.0	0.0	0.0
B	89.1	0.0	3.5	7.4
C	88.6	0.0	6.5	4.9
D	79.4	1.5	8.8	10.3
336 A	94.9	0.0	1.9	3.2
B	89.2	3.9	2.9	3.9
C	100.0	0.0	0.0	0.0
D	51.4	0.9	41.3	6.4
337 A	73.7	2.5	22.9	0.8
B	4.4	84.6	1.1	9.9
C	24.1	51.8	19.3	4.8
D	62.8	0.0	16.6	20.7
全国	**83.0**	**4.4**	**8.2**	**4.4**

いう組織があり、基本データの整備等、積極的に対処して頂けたことで、IT担当者はそれ以外のクラブをフォローすれば良く、非常にスムーズに導入出来ました。この合同事務局はほとんど普通の1地区分、88クラブ、24人の事務局員が集まって構成されています。5年ほど前から各自に1台ずつPCを用意し、それぞれにメールアドレスを配布するなど、IT推進に積極的です。また、WMMRも含めた実際のマンスリー入力作業についても全員の経験に基づく情報が集約されるので、地区で開催するITセミナー等でも貴重なアドバイスで助けてもらっています。

中島 私のキャビネット時に発信文書をEメールにする試みに当たっては、合同事務局に完全に対処頂けたことが大きな成功要因だったと感謝しています。

ライオン荘英隆

ライオンズの生命線 アクティビティへの活用

小柴 私は仙台のITフォーラムでも「ITとアクティビティ」をテーマにした分科会の座長を務めたんですが、やはりアクティビティへの活用まで持っていかなくてはという思いがあります。

ライオン小柴登司

深見 仙台でもいろいろな意見が出ましたが、いざ実現しようとなると、難しい点も多々ありますね。

荘 今度の330複合地区の年次大会で「緊急災害時におけるITの有効活用」をテーマにシンポジウムを行うことになりましたが、このような切り口を足掛かりにして、運営に活用するだけのITから一歩ずつ進めていきたいですね。

深見 やはり災害に関しては全国的なネットワークがほしいですね。

小柴 今のところ、ITというと、どうしても災害に対する活動がクローズアップされるんですが、もっと身近なものもあるんじゃないでしょうか。例えば次年度、B地区ではホームページ上に草の根ボランティアを紹介するコーナーを設ける予定なんです。現在の副地区ガバナーが、そういう面に関心を持っているということもあるのですが、そうした人たちと接点を持つことで、ネットワークが広がるように思うんです。

ライオン深見秀雄

深見 地元の話題を掘り起こすことで、地域の人たちが、ライオンズのサイトにアクセスしてくれるかもしれませんね。一般の方にも見てもらえるようなページ作りを考えることも必要ですね。

荘 例えば、活動報告型のページ作りを改め、予告型に切り替えていくことも考えられますね。

小柴 市民を巻き込んで、我々の活動に参加してもらえるような形になるのが理想ですね。

深見 もう一つ、アクティビティに関するノウハウ、アイデアを蓄積して、全国的なデータベースを作れないかな、と思うんですが。

荘 それこそ、ライオン誌委員会で募集して頂いて、国際協会公式ウェブサイト（www.lionsclubs.org/）の中で紹介して頂けるといいのですが。いかがでしょう。

中島 アクティビティに限らず、例会やテール・ツイスターの実例、事業資金獲得法など、いろいろと考えられますね。私はライオン誌委員会で、ウェブサイトの担当をさせて頂いておりますので、何とか実現させたいと思います。

ライオン中島洋吉

日本ライオンズ合同会議

4月5日午後3時から、東京・丸の内のパレスビル会議室で「日本ライオンズ合同会議」が開催された。会議には石橋幹雄、伏見龍両国際理事、栢森新治国際理事会アポインティー、並びに日本の複合地区ガバナー協議会議長、地区ガバナーら34人が出席。冒頭、高橋義太郎332複合地区議長から、「3月2日に石橋国際理事の音頭で開催された『これからの日本のライオンズの在り方を考える会』の中で、山田實紘国際理事から全議長・全地区ガバナー会議開催の提案があり、その世話役として、同様の提案がなされた仙台でのミニ・フォーラムのパネリストでもある私と鈴木誓男334－A地区ガバナーが指名され、各議長の了承を得て会議を持った」ことが説明され、その後、鈴木ガバナーの司会で会議が進行した。あらかじめ素案として提示された規約作りや組織作りに関しては賛否両論があり結論には至らなかったが、年2～3回は、こうした会議を持つことが全会一致で採択され、今後、方法論を検討することになった。

国際理事立候補者の辞退と候補者交代について

2006～08年度国際理事への立候補が決まっていた鳴本聡和元協議会議長（336複合地区／山口県・下関東）が立候補を辞退し、336複合地区から交代の候補を擁立することになった。3月2日に開催された第6回ガバナー協議会議長連絡会議において、松本勤336複合地区議長から経過説明があり了承された。

トルコでミッション30国際中間会議開催

メータ国際会長が掲げる「プラスワン」の目標を達成するため会員増強に取り組む「ミッション30」会議が、3月12日から14日までトルコ・イスタンブールで開催された。メータ国際会長、クジアク前国際会長、ジミー・ロス第1副会長、マヘンドラ・アマラスリヤ第2副会長ら国際役員とミッション30国際チーム・リーダー29人、国際本部のエクステンション会員部の担当職員らが出席。日本からは後藤隆一リーダーと杉田貞治リーダーが出

席した。後藤リーダーの報告によると、会議ではまず各リーダーから会員増強の現況と年度末の予想数値が発表された。今年1月末の全世界の会員数は期首から9700人のマイナスとなっているが、各リーダーとも年度末純増の目論見を発表。日本のリーダーからは、2月末に各地区コーディネーターから提出された報告の集計結果に基づき、年度末1900人純増という目論見が発表された。世界的に見て好調な動きを見せているのは台湾で、担当リーダーが発表した年度末3000人増を更に上回ると見られている。また、女性会員の増強は世界各地で活発に行われており、東洋・東南アジア地域内でも女性比率が20〜30%という地区は珍しくない。日本でも1月末の570人純増のうち、500人を女性会員の増加が占めている。年度末純増を達成するには一層の努力が必要で、執行役員からはその課題の重要さが改めて強調された。

新しい年間会員増強プログラム

年間会員増強プログラムは、会員増強の戦略やアイデアを提案したり、キー賞を設けて、各クラブの会員増強をサポートしている。このほど新たに月替わりのテーマが設定された。各月のテーマに目標を絞り込むことで、会員招請を容易にはずみをつけようという提案だ。各クラブが年間を通じて幅広いアプローチを行うために役立つはずだ。

7・8月 ?女性
9月 ???眼科医や教師など、ライオンズの活動でパートナーとなる専門職種
10月 ???伝統的な会員増強の推進
11・12月 ?会員の配偶者や家族
1月 ???レオクラブ会員と元ライオンズクラブ会員
2月 ???地域の特性に合ったグループ、ベビー・ブーマーや若い職業人など
3月 ???伝統的な会員増強の推進
4月 ???世界入会デー
5・6月 ?退会防止

千葉県災害救助犬協会発会

3月15日、千葉県船橋市の船橋グランドホテルにおいて、千葉県災害救助犬協会（林護会長／前333‐C地区ガバナー）の発会式が開催された。災害時の人命救助に活躍する災害救助犬の育成を図ると共に、いざという時に有効に働けるように関係機関の調整を進め、市民の理解を深めることがその目的だ。

協会設立を推進したのは船橋中央レオクラブ（永井周治会長／20人）である。同クラブの活動は3年前、333‐C地区レオクラブ海外研修で台湾を訪問したメンバーが、台湾大震災の際に日本の救助犬に親戚が助けられたことを現地ガイドに感謝されたのを機に始まった。2003年から特定非営利活動法人全国災害救助犬協会（富山市・黒川哲男理事長／富山神通ライオンズクラブ）の協力を得て、災害救助犬に対する市民の啓蒙に取り組み、県の合同防災訓練に参加するなど活動を続けるうち、協会設立の必要性を認識し、ライオンズクラブの理解と協力を得て発会に漕ぎ着けた。協会事務局を務める船橋中央レオクラブの呉服裕一前会長は、「現在県内には災害救助犬はいないので、東京や神奈川、埼玉で育成しているボランティアの協力を得ている。災害時の協力体制を築くために、まず千葉県内でも災害救助犬を育成することを目指したい」と話している。

「ライオンネット・ジャパン」リニューアル

国際協会公認のホームページ・リンクである「ライオンネット・ジャパン（LionNet Japan）」がこのたびリニューアルして運用を開始した。ライオンネットとは、ライオンズクラブ国際協会のインターネット・サービスのボランティアが運営するネットワークで、現在全国の各クラブが開設しているホームページのリンクを提供している。

今回のリニューアルは、今後開設されるであろう多くのクラブのサイトを効率的に掲載出来るシステムへの変更と、大規模自然災害などに際してネットワークを確立出来るようなホームページの運用を目指したもの。既に以前登録されたクラブのホームページには閉鎖や未更新などがあるため、再度各クラブで登録を行うよう呼び掛けている。登録方法は、上記を参照のこと。

http://lionnet.sakura.ne.jp/main/modules/weblinks/submit.php

Knights of the Blind
—盲人のための騎士たれ—

視力ファースト キャンペーンⅡ 最新情報

世界的な高まりを見せるCSFⅡ

CSFⅡが世界的な広がりを見せるにつれて、失明との国際的な闘いに挑むライオンズの活動が人々に知られ、認められるようになっている。アショク・メータ国際会長の下には多くの人々から支持や励ましのメッセージが届いている。

◇

●ウォルター・クロンカイト

「21世紀初頭の今、私たちの前に立ちはだかる世界のさまざまな問題を乗り越えるために、国際協力がますます重要になっています。世界の全大陸に暮らす何百万人という人々を脅かしている予防可能な失明は、そのような問題の一つです。ライオンズクラブ国際協会は、85年以上も前から国際協力の手本となり、15年前からは世界中の何百万人という人々を失明や重度の視覚障害から救うプロジェクトに一致協力して取り組み、未曾有の成果を収めてきています。すべてのライオンズがCSFⅡを全面的に支援することによって、この素晴らしい活動を継続することを願っています」（2006年２月／アメリカ・ニューヨーク）

ウォルター・クロンカイトは、「CBSイブニング・ニュース」のアンカーマンと編集長を19年間務め、

「アメリカで最も信頼出来る男」と呼ばれてきた。どんな重大ニュースも沈着冷静に公平に伝えるその姿勢は、世界中の人々の尊敬を集めた。1981年に引退後は環境保護活動に取り組み、国連を通じて国際協力を訴えている。

◇

●カール16世グスタフ国王

「地球上のすべての生き物は複雑な生態系網の中で密接に結びついています。私たちが直面している環境問題に対処するためには、地球的規模で取り組まなければなりません。私たち人間はこの生態系網の本質的な一部ですから、人間の問題も同様に対処しなければなりません。ライオンズクラブ国際協会は、国際協調プログラム及び友情と国際理解という理念を通じて、人道的活動への世界的な取り組みの手本を示してきました。予防と治療可能な視覚障害を撲滅する活動によって、ライオンズクラブは世界中の何百万人という人々の福祉に大きな影響を与えました。この重要な活動はぜひとも続けていかなければならないと思います。CSFⅡを通じてライオンズクラブが行っている努力は称賛すべきものです。すべてのライオンズがこの運動を力強く支援されるよう希望します」（2006年２月／スウェーデン・ドロットニングホルム宮殿）

カール16世グスタフ国王は1973年にスウェーデンの王位に就いた。熱心なアウトドアスポーツ愛好家で、自然に深い愛着を持つ。世界スカウト機構の名誉会長を務め、同機構のブロンズ・ウルフ功労賞を受賞している。また、スウェーデン国王としてノーベル賞を授与する役目も担っている。

SightFirst Update

カメルーンの1050万人を河川失明症から守る

カメルーンはアフリカ西部に位置し、人口1600万人、230の種族が集まる国である。ここではとりわけたちの悪い、失明に至る病がはびこっている。「河川失明症」は、水の流れのある所に群がる小さな黒いブユに刺されることで伝染する。刺されると極めて小さな寄生虫が体内に侵入する。寄生虫はたちまち増殖し、痛みを伴う発疹や皮膚の変色を引き起こし、重症の場合は失明してしまう。

正式な病名をオンコセルカ症というこの病気は、カメルーンの10州すべてにまん延する風土病である。患者は働くことが出来ず、作物を収穫することも自分の子どもの世話をすることも出来ない。

しかし、カメルーンのライオンズは、1990年代の初めから視力ファーストの資金提供を受け、この病のまん延を抑えることに成功しつつある。カメルーンでは、これまでに1050万人以上の人々が河川失明症の危険から救われた。河川失明症は、完治させることは出来ないが、メクチザンの投与によって悪化を食い止めることは出来る。ライオンズと視力ファーストは96年から、カーター・センターなどのNPOや各国保健省と協力して、カメルーンの他にも、アフリカとラテン・アメリカの10カ国で7000万件以上メクチザン投与に力を貸してきた。

失明との闘いを続けるため、視力ファースト諮問委員会は1月に、カメルーン・ライオンズが河川失明症に対する取り組みを継続出来るよう、310万ドルの交付金を承認した。これによってライオンズは、予定している700万件のメクチザン投与を実施することが出来る。

この交付金により、カメルーンの7州で河川失明症のまん延防止プログラムを拡大し、これまで実施されていなかった一つの州でも投薬を開始することが出来る。実際の投与は、カーター・センターなどと協力しながら行われる予定だ。

■2006年1月に承認された視力ファースト交付金　（単位：ドル）

交付先	金額
アルゼンチン(0-2)白内障手術キャンペーン／1,500件	168,500
ブラジル(LC-5)白内障手術キャンペーン／500件	55,300
ブラジル(LD-6)糖尿病性網膜症プロジェクト	40,800
カメルーン(403-B)河川失明症プログラムの継続	3,100,984
エチオピア(411-A)白内障手術キャンペーン／10,000件	780,000
インド(322-B1)ライオンズ眼科病院の増補	29,923
インド(MD322)白内障手術キャンペーン／4,500件	76,705
ラオス(地区なし)ビエンチャン近郊クリニックの改修・整備	61,000
メキシコ(B-6)白内障手術キャンペーン／1,000件	120,000
メキシコ(B-8)白内障手術キャンペーン／1,000件	99,000
メキシコ(B-4)白内障手術キャンペーン／1,000件	97,000
ネパール(325-A)ドラカ眼科病院の支援	5,464
スリランカ(306-B1,306-B2) 人材及び管理者の教育	17,500

NEWS CASSETTE

新結成／クラブ名称変更

■新結成クラブ

鹿児島県・川内なでしこ▼結成順位／3618▼2月11日結成▼種子田香代会長▼事務局／薩摩川内市大小路町12・14　大小路酒販㈾有村房代様方（〒895‐0076）TEL0996・25・2423▼スポンサー／川内

群馬県・高崎城▼結成順位／3619▼2月14日結成▼桑原勝宏会長▼事務局／高崎市上大類町910・4（〒370‐0031）TEL027・353・2201▼スポンサー／高崎中央

青森県・八戸うみねこ▼結成順位／3620▼2月18日結成▼岩谷信宏会長▼事務局／八戸市大字鮫町字小舟渡平9・19　八戸シーガルビューホテル 花と月の渚内（〒031‐0841）TEL0800・1838・7615▼スポンサー／八戸

群馬県・高崎新生▼結成順位／3621▼2月18日結成▼長沼良充会長▼事務局／高崎市江木町573・4　㈱高崎保険事務所内（〒370‐0046）TEL027・324・0897▼スポンサー／玉村町

佐賀県・さが桜▼結成順位／3622▼2月21日結成▼広津素子会長▼事務局／佐賀市神野西3・1・9（〒840‐0805）TEL0952・32・4557▼スポンサー／佐賀北

千葉県・行徳ベイ▼結成順位／3623▼2月25日結成▼及川優一会長▼事務局／市川市本行徳29・7　及川優一様方（〒272‐0103）TEL047・397・9911▼スポンサー／行徳リバーサイド

■クラブ名称変更

千葉県・成東→山武（さんむ）

訃報

ライオン広島廸則（北海道・帯広平原）

3月28日死去、85歳。1965年入会。81年度331・B地区ガバナー、331複合地区ガバナー協議会議長。

会議録　3月　主な議題だけをまとめました

複合地区ガバナー協議会議長連絡会議

第6回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議は3月2日、東京・丸の内のパレスホテルで開催され、①第45回OSEALフォーラム、②第95回国際大会の誘致、③06・08年度鳴本聡和国際理事候補者の立候補辞退、④各種連絡会議・委員会報告、⑤仙台フォーラム参加のお礼と報告、⑥その他について協議した。

②は12年国際大会開催地に愛知県名古屋市が立候補することに対し、議長連絡会議は賛同する。

③は鳴本候補者の立候補辞退を受け、336複合地区が交代の候補を擁立することを了承。

⑥は鈴木正二333・B前地区ガバナーから、麻薬乱用防止運動について全日本での支援要請あり。了承。

ライオン誌日本語版委員会

第9回ライオン誌日本語版委員会会議は3月3日、ライオン誌日本語版事務所で開催され、①05・06年度上半期監査報告、②3月号出来、③5月号以降台割と主要記事予定、④5月号別冊、⑤国際協会公式ウェブサイト日本語版、⑥オンライン報告システム、⑦その他について協議した。

③は「THEME」は5月号「青少年育成」、6月号「ミニ・フォーラム検証」、7月号「年次大会」。

⑥はサバンナ提出状況、2月16日に愛知県名古屋市で開かれたサバンナ調整会議の報告。

⑦は備品購入の承認。テール・ツイスター実例のアンケートをサバンナを通じて行うことを了承。サバンナ講習会開催と出版物『ライオンズ・スクール』の活用を地区キャビネットに依頼。新広告料金表を検討。国際協会リーダー養成講座テキストの翻訳について。

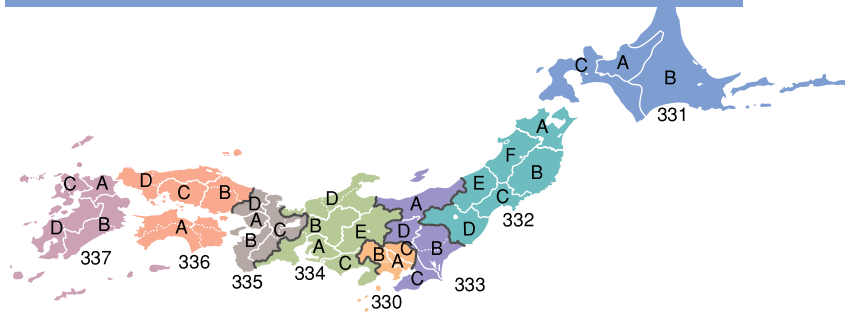
日本ライオンズクラブ クラブ数・会員数

（2006年2月28日　各地区キャビネット事務局集計）

世界のライオンズ

2006.1.31.国際協会集計	■クラブ数	■会員数	期首からの増減
ライオンズ国または領域　197	45,088	1,312,642	△9,743

日本のライオンズ

2006.2.28. 各キャビネット事務局集計		■クラブ数	期首からの増減	■会員数	期首からの増減
330-A	東京	207	0	5,699	99
330-B	神奈川・山梨・東京	195	3	5,950	87
330-C	埼玉	108	0	2,982	△ 5
330	計	510	3	14,631	181
331-A	北海道（道央）	77	0	2,927	1
331-B	北海道（道北・道東）	101	0	3,215	△ 58
331-C	北海道（道南）	63	0	2,253	△ 8
331	計	241	0	8,395	△ 65
332-A	青森	68	0	2,188	7
332-B	岩手	57	0	1,942	3
332-C	宮城	83	△ 2	1,889	△ 7
332-D	福島	81	0	2,362	29
332-E	山形	56	0	2,071	△ 10
332-F	秋田	57	0	1,658	△ 39
332	計	402	△ 2	12,110	△ 17
333-A	新潟	79	△ 1	3,038	46
333-B	茨城・栃木	138	0	4,480	83
333-C	千葉	129	3	3,676	125
333-D	群馬	57	2	2,268	124
333	計	403	4	13,462	378
334-A	愛知	117	0	6,111	47
334-B	岐阜・三重	88	△ 1	4,225	38
334-C	静岡	84	0	3,651	84
334-D	富山・石川・福井	98	0	4,480	41
334-E	長野	55	0	2,465	31
334	計	442	△ 1	20,932	241
335-A	兵庫（東）	111	△ 4	3,219	11
335-B	大阪・和歌山	203	0	7,461	△ 24
335-C	滋賀・京都・奈良	123	0	4,919	51
335-D	兵庫（西）	68	△ 1	2,490	△ 11
335	計	505	△ 5	18,089	27
336-A	徳島・高知・香川・愛媛	156	2	6,756	127
336-B	鳥取・岡山	102	0	4,049	△ 28
336-C	広島	105	△ 1	4,249	21
336-D	島根・山口	109	△ 1	4,048	△ 21
336	計	472	0	19,102	99
337-A	福岡・長崎	118	0	5,238	110
337-B	大分・宮崎	92	△ 1	3,144	21
337-C	佐賀・長崎	82	1	3,349	86
337-D	熊本・鹿児島・沖縄	145	△ 1	4,851	94
337	計	437	△ 1	16,582	311
総計		3,412	△ 2	123,303	1,155
世界のライオンズの		7.6%		9.4%	

ライオンズクラブの将来は国際大会の代議員投票で決まる

日本ライオンズの誇りと名誉をかけて

クラブを代表して代議員の一票を

国際大会における代議員投票は、国際役員の選挙と、国際会則及び付則改正案の賛否投票である。国際会長、第1副会長の選挙は就任予定者の信任投票といったところだが、第2副会長は2年後の国際会長を決める重要なもの。

例年は大会までに立候補補者が1人に絞り込まれるが、今年は少し様相が違う。3月にスロベニア・ポルトローシュで開催された春季国際理事会の時点で4人の第2副会長立候補者がおり、このままでいけばボストン国際大会の選挙まで決定が持ち込まれる可能性が高いと言う。そうなれば、代議員の投票が2年後の国際会長を決める非常に重要な一票になる。大会4日目の第2総会では第2副会長、国際理事立候補者の立ち会い演説会が行われるので、代議員には立候補補者の主張や展望を聞いた上で投票に臨んでほしいものだ。

なお、国際会則及び付則の改正案については、次号6月号に国際協会からの公式通達として掲載する予定。

第89回ライオンズクラブ国際大会 主要日程

＊日程は変更の可能性があります

2006年6月30日（金）～7月4日（火）
アメリカ・マサチューセッツ州ボストン

●本部ホテル=ウェスティン･コプリー･プレイス
●主会場=ボストン・コンベンション＆エキシビション・センター

日	時間	行事
6月30日	9:00～17:00	大会サービス・センター（登録／資格証明／各種展示など）
7月1日	9:00～17:00	大会サービス・センター
	9:30～	インターナショナル・パレード
	18:00～19:15	インターナショナル･ショー
7月2日	9:00～17:00	大会サービス・センター
	9:00～12:30	第1回総会（開会式）
	13:30～17:00	各種セミナー
	19:00～22:00	国際アカデミー賞晩餐会*
7月3日	9:00～17:00	大会サービス・センター
	9:00～11:30	第2回総会
	13:00～15:00	メルビン･ジョンズ･フェロー昼食会*
	13:00～16:30	各種セミナー
	19:00～21:30	日本ライオンズ夕食会
7月4日	7:00～10:00	大会サービス・センター
	7:00～10:00	投票
	9:30～12:30	第3回総会（閉会式）

*印のついた行事はチケットの購入が必要

代議員投票までのステップ――大会編

前号4月号では代議員投票までに踏むステップのうち「準備編」を掲載。クラブの代議員任命から大会前に済ませておきたい大会登録、予備資格証明について説明した。ここでは、大会期間中に現地で行う手続きを解説する。なお、ボストン国際大会の投票前日にあたる7月3日午後7時から開かれる日本ライオンズ夕食会の中で、代議員向けに投票に関する説明が行われることになっている。

ステップ1　資格証明

大会開催地のボストンに到着した代議員は、まず第一に大会登録と代議員資格証明を行おう。手続きを行う場所はボストン・コンベンション＆エキシビション・センター（BCEC）内に設置される大会サービス・センターである。今大会では開会式から投票、閉会式までの主な公式行事のほとんどがBCECで行われるので、大変便利だ。資格証明は投票前日、7月3日午後5時まで受け付けているが、早めに済ませておきたい。

資格証明ブースは国別になっていて各国の資格証明委員が待機している。日本のブースでは日本人の委員が対応してくれるので安心だ。前号で説明した通り予備資格証明が完了していれば、用紙の控えと身分証（ライオンズ会員カード、パスポート、運転免許証など）、大会登録証（名札）を示すだけで簡単に確認される。予備資格証明により原簿に氏名が記載されているからだ。予備資格証明を行っていない場合は、その他にクラブ会長か幹事、または権限のあるクラブ役員が署名した資格証明用紙を提出。ここで氏名が登録される。

こうして代議員資格が証明されると、複写式の資格証明カードが渡されて、2カ所の署名欄のうち「1」の欄に署名を求められる。署名済みの資格証明カードの写しは投票の際に必要になるので、代議員本人が所持しておくこと。手続きを終えると、「Delegate 2006」のシールが渡されるので、必ず大会登録証に張っておく。これがないと投票所に入れない。

香港国際大会の資格証明ブース

さて、予備資格証明した代議員が都合によって交代する場合はどうするか。1月に国際協会から各クラブに届いた予備資格証明書類の一式の中に代議員変更届けの書類がある。これを事前に送付するか、現地の資格証明時に提出すればよい。

ステップ2　予備資格証明

投票当日の7月4日、投票は朝7時から10時までBCEC内の投票所で行われる。投票受付は10時までだが、9時半には閉会式が始まるので投票は早めに済ませておこう。資格証明カードを選挙委員に提出する際、その場で署名欄2に署名すると署名欄1のサインと比較して本人確認が行われる。確認が済んで投票用紙を受け取ったら、いよいよ投票である。

投票はパンチ式の投票機で行われる。少々使いにくいが、資格審査ブースに現物が置いてあるので、練習しておくとよいだろう。投票場内には各国からの選挙委員が待機しているので、投票方法について分からない点は尋ねるとよい。

建国の歴史と緑豊かな学園都市・国際大会開催地 ボストン観光情報

石畳にレンガ造りの家並みが続くボストンは、新天地を求めて大西洋を渡ってきた移民たちによって開かれた街。ボストン最古の建築物、旧州議事堂やキングスチャペルなど、イギリス植民地時代から建国当時の史跡16カ所を結ぶ「フリーダム・トレイル」を歩けば、古都の歴史をたどることが出来る。広大な公園ボストンコモンからチャールズタウンまで約2・4キロ、徒歩約3時間の行程だ。ルートにはトレイルを示す赤い線が路上にはっきり描かれているので、迷う心配もない。国際大会閉会式が開かれる7月4日は、ちょうどアメリカ独立記念日。独立戦争の舞台で、独立宣言が読み上げられた地でもあるボストンでは、例年、無料の野外コンサートや花火で盛り上がる。

ボストンはまた全米有数の学園都市でもある。チャールズ川対岸のケンブリッジには、名門ハーバード大学やマサチューセッツ工科大学があり、広いキャンパス内を巡るツアーや博物館がある。ハーバード大学のキャンパスは映画「ある愛の詩」の舞台にもなった。名門校の雰囲気だけでも味わってみては？

クラブ会員・役員などに贈るアワード

アワードメダル

G-125-S	21.92ドル	(2,565円)
G-125-T	21.92ドル	(2,565円)
G-125-C	21.92ドル	(2,565円)
G-168	21.92ドル	(2,565円)
G-22	26.83ドル	(3,139円)
G-23-BC	27.03ドル	(3,163円)
G-23-CC	18.52ドル	(2,167円)
G-452-M	51.36ドル	(6,009円)

飾りリボン

G-194	4.00ドル	(468円)
G-203	4.00ドル	(468円)

対象者は無限定。すべての表彰に利用可。

会員用　会長が会員を表彰するのに使用。

役員用
G-125-S
幹事表彰用
(ヨコ1.5cm)

役員用
G-125-T
会計表彰用
(ヨコ1.5cm)

役員用
G-125-C
委員長表彰用
(ヨコ1.5cm)

会員用
G-168
(ヨコ2cm)

一般用
G-22
(ヨコ2cm)

一般用
G-23-BC(金メッキ)
G-23-CC(ブロンズ)
(ヨコ2cm)

一般用
G-452-M
(ヨコ3.2cm)

これらのメダルに使用する飾りリボンG-194(黄、紫二色)とG-203(紫色)があります。同時にご注文ください。(国際本部カタログ9ページご参照)

長期在籍表彰用

MC10〜MC45	2.87ドル	(336円)
CMC10〜CMC45	3.00ドル	(351円)

※この他にMC50〜MC65、CMC50〜CMC65もあります。

モナークシェブロン
MC10(10年)

チャーター・モナークシェブロン
CMC10(10年)

PA-5〜PA-25	6.79ドル	(794円)
PA-30〜PA-45	7.38ドル	(863円)

※この他にPA-50、PA-55、PA-60もあります。

PA-5(5年)

PA-15(15年)

PA-25(25年)

PA-10(10年)

PA-20(20年)

PA-30(30年)

ご注文はクラブ事務局を通してお願い致します

●ドル単価は2006年3月現在のものです。協会本部の指示により、変更されることがあります。括弧内に1ドル117円(2006年3月レート)で換算した円単価を、ご参考のため記載しました。レートの変更により円単価は変更になります。

ライオンズクラブ国際協会日本事務所(JR五反田駅 徒歩7分)
〒141-0031東京都品川区西五反田7-22-17　T.O.Cビル6階16号　TEL03(3494)2931 FAX03(3494)2933

SCENE

春まだ遠い北国のスキー大会で、選手たちの体と心を温めるボランティアたち。

北海道・旭川大雪ライオンズクラブ

■取材／編集部

甘酒担当の渡部会長と明石利夫第1副会長

競技を終えて一息ついた選手たちを迎えるのは、「ご苦労さま」のねぎらいの言葉と、白い湯気を立てる飲み物やバナナを差し出すボランティアたち。旭川の人たちが「バーサー大会」と呼ぶこの大会には、手作りの温かさがあふれている。旭川大雪ライオンズクラブ(渡部泰行会長／31人)は12年前から、ボランティアとして大会をサポートしてきた。

バーサーロペット・ジャパンは国内最大規模のクロスカントリーと歩くスキーの祭典だ。「バーサー」は16世紀にスウェーデン独立を果たしたグスタフ・バーサー王にちなむ。その偉業を記念して、スウェーデンでは1922年から開催されている伝統の大会である。こんな大会を旭川でも開きたいという人々の熱意が実り、81年にスタートした。

2月22日、旭川競馬場で幕を開けた第26回大会には約4000人がエントリー。道内はもちろん東京や兵庫からの出場者もいる。大会は旭川市やスキー連盟、商工会議所などで構成する組織委員会が主催。国内トップ・レベルの選手が出場する種目もあれば、ユニークな衣装のパフォーマンス・コンテストもあり、子どもも大人も、記録を目指す選手もただ目立ちたい人も、誰もが楽しめる大会となっている。競技は午前10時にスタート。競馬場を一周した選

手たちは周辺の丘陵地帯のコースへと走り抜けていった。

　同じころ、ボランティアが活躍する無料給食所には、応援に訪れた人たちが大勢集まってきた。テントの下に豚汁やオニオン・スープ、ほかほかのジャガイモなどが並ぶ。ここで配布する食品は協賛企業から寄贈されたものだ。旭川大雪ライオンズクラブが担当するのはバナナと甘酒。朝早くから集合し、大量のバナナの房を1本ずつに分け、甘酒を火にかけて準備万端整えた。この日は春分にもかかわらず、時折吹雪に見舞われるあいにくの天候。よって、甘酒に手を伸ばす人が後を絶たない。大きな寸胴鍋を焦がすまいとお玉を握り続けた渡部会長。最後には右手の握力がすっかり無くなっていた。

　やがて次々にゴールを切った選手たちも給食所に集まり始めて、大鍋二つ分の甘酒と山と積まれたバナナはお昼前に品切れになってしまった。最長の40キロを走っている選手たちがゴールするまでには、まだ2時間近くもある。「本当は最後の選手にこそあったまってほしいのだけど、隠して取っておくわけにもいかなくて……」と残念そう。今回は例年よりも品物が少なかったようなのだ。早速、昼食の弁当を食べながら「来年は我がクラブでも何か用意しよう」と相談が始まっていた。ボランティアの温かい心が、旭川の冬の祭典を支えている。

LCIF REPORT

日本ライオンズの交付金事業例

市民の協力を得て中国の小学校に校舎建設

●336-D地区第3リジョン第3ゾーン●

一般援助交付金交付額：50,000ドル　事業完了日：2005年9月30日

マンネリ化した事業から国際的な教育支援へ

336-D地区第3リジョン第3ゾーン（益田、津和野、日原、三隅島根、益田あけぼの）では毎年、ゾーン内5クラブ合同のアクティビティを行っている。例年は海岸や公園の清掃、警察と連携した交通安全運動など、地域内の奉仕活動に取り組んできた。

2004年度の事業計画に当たり、当時の大畑忠司ゾーン・チェアパーソン（益田あけぼのライオンズクラブ）を中心とした話し合いの中で、「地域内でマンネリ化した活動よりも、一度世界へ目を向けようではないか」という声が上がった。その後検討を重ねるうち、「アジアの中には貧しく、教育環境が整っていない所がまだまだある。そうした地域へ教育支援を行おう」と、意見がまとまる。当初は、学用品を贈ろうという案が有力だった。しかし、この年9月に開かれた地区LCIFセミナーを機に、計画は小学校の校舎建設へと大きく膨らむことになる。

ライオン大畑はこのセミナーで、日本からの事業申請が少ないこと、しっかりした計画があれば交付を受けるのは決して難しくないことを聞いて、LCIFへの交付金申請を考えたと言う。

海外での支援活動では、信頼出来るパートナーの存在が重要になる。そこで、中国を始めとするアジアの国々での学校建設に実績のある水月会に助言を求めた。水月会は全国の僧侶を中心に組織されている会で、益田あけぼのライオンズクラブの04年度会長を務めたライオン永見勝徳も会員の一人である。水月会からは数カ所の候補地が推薦され、まずは中国・黒龍江省に絞り込んだ。旧満州である。歴史的に日本とかかわりが深いこと、満州で生まれ育ったメンバーもいることなどが決め手となった。更に検討を加えて、最終的には綏科市北林区にある太平川鎮心小学校の校舎増設に決定した。

「中国の貧困地区の子どもたちに愛の手を」と呼び掛けたチャリティー・コンサート

LCIFの活用と市民を巻き込んだ資金調達

この事業に必要とされる資金は校舎増設の建設費などに64万元、パソコン20台など教育資材に16万元で合計80万元（約1170万円）。これまでの合同アクティビティは労力奉仕が中心だったが、今回の事業ではまず資金調達が問題になる。そこで中国の演奏家によるチャリティー・コンサートを企画。広く市民に協力を呼び掛けることにした。それによって500万円の資金を調達し、LCIFには全事業費の半額に当たる5万ドルの交付を申請する計画だ。

コンサートへの出演を依頼したの

竣工式では学校関係者、子どもたちの熱烈な歓迎を受けた

は二胡奏者のジャン・ジェンホワさんと、黒龍江省出身の古筝奏者のズイコウさん。ジェンホワさんは、映画『ラスト・エンペラー』のテーマ曲で二胡を演奏した世界的な奏者で、以前、益田市のコンサートにゲスト出演したことから市民にも知名度が高い。二人とも母国のためにと喜んで協力してくれた。1枚4500円のチケットは1250枚を売り上げ、収益金は目標の500万円を達成。4月27日、石西県民文化会館大ホールで開かれたチャリティー・コンサートでは、1000人余りの市民が演奏を楽しんだ。

一方、交付金申請は1月20日に提出、2005年3月のLCIF執行委員会で審議されて承認された。

子どもたちの笑顔が輝く日中友好小学校の竣工式

2005年4月、建設予定地の視察に訪れたライオン大畑ら4人は、戦後の日本が彷彿させられるような現地の様子に懐かしさを覚えたと言う。子どもたちには素直さ、明るさが全身にあふれていた。その一方、彼らが学ぶ学校の校舎は古く、ガラスが割れ、天井は剥げ落ちて雨漏りがするような状況だった。冬には気温マイナス35度まで下がるという土地柄である。「何とかしてあげたい」という思いが込み上げた。この視察中に、現地の要人と共に小学校建設と寄付に関する協議書にサイン。学校名は太平川鎮中日友好小学校とすること、9月までに竣工すること、資金は着工時と中間、竣工式後の3回に分けて支払うことなどを確認した。

それから5カ月後の9月30日、完成した小学校の竣工式に出席するため、ゾーン内のメンバー14人が日本を出発した。大連から夜行列車に乗って翌朝、地元駅に到着。学校関係者の出迎えを受け、更に車で約2時間掛けて小学校にたどり着いた。小雨の降りしきる中、子どもたちは笛や太鼓を演奏し、赤旗を振って歓迎してくれた。

完成した小学校はレンガ造り2階建てでボイラー式暖房設備を完備。教室や職員室など18室があって、318人の児童が学ぶ。

竣工式では、子どもたちから花束を贈呈され、首に赤いネッカチーフを巻いてもらい、ライオンズからは現地で調達した中国語の辞書とノートを児童全員に贈呈した。更に日本からは益田小学校の5～6年生の児童が描いた30枚の絵画を持って行き、友好小学校児童の絵と交換した。ライオン大畑は「今後、絵などを通じて日中間の子どもたちの交流を深めていければと願っています」と話す。

4

5

ぎを与えるアクティビティとなり、大成功を収めた。

愛知県･豊橋ちぎり（334-A）

15年間継続している「ちぎり文学賞」を今年も開催。地元・東三河在勤者を対象に、文学賞を選考・授与している。地域市民に、詩や俳句、短歌、小説など、あらゆる文学を身近に感じ、自ら書く楽しみを見つけてもらうのが目的。地元文化向上の一端を担う。

岐阜県･高山臥城（334-B)写真4

2月11日、高山市スポーツ少年団と小学生児童「ドッヂビー」大会を開催。ドッジボールをスポンジ製のフリスビーに代えた新しいスポーツ。ボールは柔らかくとも試合は真剣勝負。負けた悔しさから「来年はリベンジ！」と誓約を立てる児童たちも。がんばれ、熱血小学生！

静岡県･榛南（334-C)

2月3日、榛南ライオンズクラブと静岡県土木事務所、牧之原市が共同で進める、地元・坂口谷川美化事業「リバーフレンドシップ」の同意書調印式を開催。式の後、同川の堤防でクラブ結成35周年を記念した河津桜の植樹も行った。

兵庫県･三木東（335-D）写真5

2月19日、「三木東ライオンズカップ少女フットサル大会」を開催。6チーム、約50人の児童が元気にコートを駆け回り、華麗な技を披露。彼女たちが国を代表する選手になる頃には、フットサルもオリンピック競技になってるかな？

愛媛県･今治くるしま（336-A）

2月5日、「子どもと作る世界の料理コンテスト」開催。今治市に住むスリランカ、ベトナム、中国、韓国、アメリカ、カナダ出身の外国人と、小・中学生34人が6班に分かれ、班ごとに献立を決めてスーパーに材料の買い出し。家庭料理や、創作料理を作り、交流を深めた。

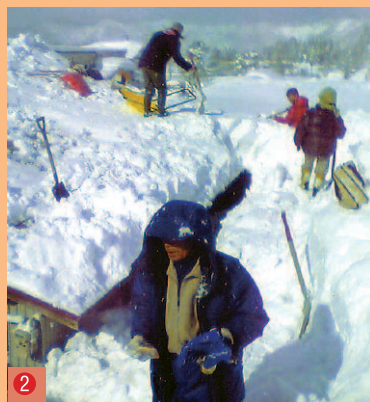
広島県･三次（336-C）

2月11、12、18日、ペットボトルのキャップを再利用して擬木に加工し、小学校のうさぎ小屋を建てた。リサイクルの大切さを実感するのが目的で、キャップは児童らが冬休みを通して集めたもの。小屋は子どもたちも手伝って3日掛かりで完成。児童からライオンズに心温まる感謝状が贈られた。

熊本県･パールライン（337-D）

2月28日、青少年健全育成事業の一環として上天草市立今津中学校で、かつて暴走族リーダーだった工藤良氏の講演会を開催した。氏の生い立ち・暴走族時代、逮捕、昨年「ふれ愛義塾」を立ち上げ、不良たちの学校を設立しようとしていることなどが中学生に分かりやすい言葉で語られ、子どもたちは真剣に耳を傾けた。

（投稿要領→63ページ／※サバンナからも文字原稿を投稿頂けます）

サービス・アクティビティ

東京荒川（330-A）

2月20日、NHK福祉ネットワークでおなじみの町永俊雄アナウンサーを招き、「NHK・町永アナと福祉を語ろう」を開催。ライオンズの原点である奉仕について語り合う機会となった。

北海道・帯広かしわ（331-B）写真❶

2月18日、「第7回青少年文化音楽祭」を開催。網走管内の幼稚園から中学校まで13団体、300人が出場。昨年、北海道代表として全日本吹奏楽コンクールに出場した遠軽高校もゲスト出演。1,300人の観客を魅了した。

北海道・室蘭（331-C）

「鉄の町」室蘭の町おこしの一環として、たたら炉を使って鉄を作る「たたら体験」を、昨年に続いて開催した。過去2回は市内の児童や父母を対象に行ってきたが、全国各地からの問い合わせがあり、今後は製鉄体験学習をメニュー化して修学旅行誘致に乗り出すことに。パンフレットも完成し、道内外の教育委員会や旅行会社に送付する。

青森県・大畑（332-A）

福祉関係団体の呼び掛けに応え、除雪ボランティア・メンバーにクラブ会員全員が登録した。今年の冬は県内各地域で記録的な降雪量となり、雪による高齢者の事故が発生。2月8日に最初の依頼があり出動。福祉関係者と共に高齢者宅の避難路の確保や段差の解消を行った。

福島県・郡山（332-D）

2月3日、薬物乱用防止や青少年健全育成活動に役立ててもらうために、車体に「ダメ。ゼッタイ。愛する自分を大切に」のキャッチコピーが描かれた乗用車を、郡山地区防犯協会連合会に寄贈した。

山形県・尾花沢（332-E）写真❷

2月5日に行われた市内一斉除雪作業で、一人暮らしの高齢者世帯など13戸を対象とした除雪活動に参加。同クラブからは20人のスコップ隊が10人ずつ2軒のお宅で作業を行い、出入り口まですっぽり埋まった民家を約3時間かけて除雪した。お年寄りからは家の中が明るくなったと喜ばれた。

茨城県・岩瀬（333-B）写真❸

2月26日、三世代ふれあい事業「子育て三世代のつどい」を猿島更生保護女性会と共同で実施した。薬物乱用防止のPRも行い、パネルシアターとして女性会が「悪魔のささやき」を熱演。薬物の恐さを訴えた。真に迫った演技は相当恐ろしいもので、市民への効果は上々。

千葉県・船橋（333-C）

2月4日、親クラブ・東京浅草ライオンズクラブの協賛を得て、同クラブ・メンバー夫人・熊澤南水氏の一人語りを開催。美しい日本語で、山本周五郎や平岩弓枝の小説を感情込めて語っていく。舞台は人の心を引き付け、満場の観客からはすすり泣く声が聞こえた。資金獲得事業としてだけなく、精神的な安ら

CLUB REPORT
クラブ・リポート

●この欄ではライオンズクラブ、レオクラブ、ライオネスクラブの活動報告を扱います。詳しい投稿要領は63㌻をご覧ください。

兵庫県・三木、日高ライオンズクラブ

園児らに雪の贈り物

豊岡市日高町の神鍋高原スキー場から、あけぼの保育園と、りんでん学園緑が丘幼稚園に2月20日、それぞれ10トントラック1台分の雪が届いた。園児らは雪山に登ったり、投げ合いを楽しんだ。

雪のプレゼントをしたのは三木ライオンズクラブ（秋山為之会長／57人）と日高ライオンズクラブ（的場敏明会長／29人）。秋山会長は「但馬の雪を三木の子どもたちに」と、高校時代の同級生、日高ライオンズクラブの西田巌PR委員長に呼び掛け、初の合同事業を実現した。子ども用スコップ200本も添えた。

この日、積雪2メートルの神鍋高原スキー場で午前7時から雪を積み込み、日高ライオンズクラブの4人が同行。播但自動車道が通行止めになり、3、4時間掛けて両園に到着。三木ライオンズクラブの8人に引き渡した。

三木で雪遊びが出来るのは数年に一度。今春、緑が丘東小に入学する最年長組の高松開ちゃん（6つ）は「雪は初めてではないけれど、投げっこがとても面白かった」と大喜びだった。　（『神戸新聞』2月21日）

（編）園児らは滑ったり転んだり雪合戦をしたりおおはしゃぎ。最後に会員たちの首に、感謝の言葉を書き込んだ雪だるま形のメダルを掛けてくれたそうです。

連絡先→TEL0794-82-8837

高知県・四万十ライオンズクラブ

英語弁論大会開催

イラスト／篠田和夫

四万十ライオンズクラブ（中山洋二会長／52人）では、国際舞台で活躍出来る人材を育てようと、毎年英語弁論大会を開催している。9回目を迎えた今年は2月4日、中村プリンスホテルで実施。幡多地域の高校生11人が、熱のこもったスピーチをした。当日は英語教員と外国語指導助手らが、流暢さや主張の内容を審査した。

発表は、学校生活や日頃の思いをテーマにしたものが多く、生徒は身ぶり手ぶりを交えながら熱弁を振るった。最優秀賞は「魔法の言葉」と題して「教科でいちばん好きな英語が将来の目標を決めてくれた」と発表した清水高校3年、武田三さん。「授業がなくても毎日学校に通い、練習した成果が出ました」とうれしそうに話していた。

（社会福祉・青少年教育指導委員長／澤田眞理子）

（編）「魔法の言葉」とは、「英語が日本語にはないリズムやアクセントを持って、魔法のように自分に不思議な力を与えて、新しい世界と結び付けてくれる」ということだそう。魔法の呪文に磨きを掛けて未来への扉をバンバン開いていってほしいですね。

連絡先→TEL0880-34-3622

岡山県・真庭旭ライオンズクラブ
夢や体験を自分の言葉で発表

真庭市と新庄村の中学生による「私の主張発表会」が、２月16日、勝山県民センターで開かれ、９校の代表21人が将来の夢や体験を通じて感じたことを自分の言葉で力強く語った。真庭旭ライオンズクラブ(岡田健会長／28人)も協力し、参加者全員に記念品を寄贈した。

各中学校から1、2年生の代表2、3人ずつが出場し、中学生や学校関係者ら約350人が聞き入った。

勝山中1年八木薫さんは、誇りを持ち仕事をしている警察官の父を見て「いつか父のように人のために尽くす人間になりたい」と決意表明。落合中1年池田裕夢君は、個性豊かな先生に出会えたことで将来、中学教師を目指すと決めたことを発表し、「皆もどんどん夢を追い掛けよう」と語り掛けた。

また「郵便局での職場体験で働くことの大変さを実感した」、「偏見を捨て広い心で人と接していきたい」などさまざまな視点からの発表があり、会場の生徒らも時折うなずきながら、堂々とした主張に耳を傾けていた。

（『山陰新聞』2月21日）

（編）子どもたちの感受性に、私たち大人も目を開かされることがあります。こうした発表会は大人と子どもが、一緒にそれを確認出来る良い機会だと思います。

連絡先↓TEL0867・42・5110

愛知県・碧南ライオンズクラブ
親子ふれあいコンサート実施

碧南ライオンズクラブ(角谷勝彦会長／89人)は12月17日、第7回親子ふれあいコンサートを主催しました。市内の小・中・高校の児童・生徒らに、音楽発表の場を提供しようと、始めたものです。

事前に何回もの会議をして、楽器運搬や参加校の交通手段、会場の手配、当日のスケジュールなどを話し、会員全員が協力して行われました。

7回目とはいえ、会場の碧南市文化会館が毎回満席になる一大事業であるため、手落ちのないように準備をして当日に臨みます。今年は市内の小学校7校、中学校4校、高校1校と、招待演奏として、全国的にも知られている安城学園高校のブラスバンドが参加しました。

当日はすべてが予定通りに進み、出演者は皆、笑顔で元気に演奏をしてくれました。会場いっぱいの観客も、子どもたちの素晴らしい演奏を楽しんで頂けたことと思います。

担当の佐藤義行市民教育・環境保全委員長は「このアクティビティが終わると一年が終わったような気がします。無事大成功に終わりホッとしました」と笑顔で話していました。

これからも市民に愛される、市民のニーズに応えるようなアクティビティをどんどん実施していきたいと思っています。

（PR・IT委員長／小林尚徳）

（編）観客動員数千人！　小学生から高校生まで幅広い年齢のグループが発表するこのコンサートは、発表者、聴衆、双方にとって楽しい刺激に満ちています。

連絡先↓TEL0566・41・1100

島根県・松江葵ライオンズクラブ
小規模小学校作文コンテスト

松江葵ライオンズクラブ（磯田謙一会長／90人）はこのほど、松江市内の小規模小学校を対象に作文コンテストを主催。長江、中島両小学校の5、6年生の生徒らに希望課題として、「住んでいる町について」「地域社会の一員として福祉について」思うことを書いてもらいました。地域の見学会も行い、生徒ら皆が自分のこととして頑張って書いてくれました。

選考は市教育委員会にお願いし、特選、準特選各1人を選出。受賞者を例会に招待し、表彰状及び記念品を贈呈しました。特選の南波郁也君は作文を読み、「自分たちの町を皆で守らなければいつかは住めなくなる。省エネの勉強をしたいし、友達にも話をする」。準特選の曳野里華さんは「障害者の立場に立って考え、勇気を持って行動したい。困っている人がいたら助けてあげられる人になりたい」と発表してくれました。

また入選2人、佳作1人、ライオンズクラブ賞2人にも表彰状を、小学校へは感謝状を贈呈。各校長先生からは、この課題に取り組む子どもらの目が輝いていたと伺いました。

作品は地域の皆さんにも見て頂こうと、地元の公民館便りへ随時掲載する予定です。

（保健社会委員長／柳浦信夫）

（編）松江葵ライオンズクラブは昨年度、地区大会で地域奉仕部門最優秀賞を受賞。今年度は更に地域密着形を目指して取り組んだ事業だそうです。

連絡先→TEL0852・26・4487

東京ウィル・ライオンズクラブ
講演会「スポーツで子どもが変わる」

東京ウィル・ライオンズクラブ（石川知恵子会長／22人）は12月4日、青少年健全育成事業として、プロ野球解説者の高木豊氏を招き、講演会「心の東京革命・スポーツで子どもが変わる」を練馬区公民館ホールで開催しました。当日は野球少年など271人が参加。高木氏は軽快に実技指導をしたり少年たちの質問に答えたりしながら、「スポーツの良さはルールを守ること」「あいさつ、声かけで子どもを守ろう」など話しました。大人も子どもも全員が目を輝かせ身を乗り出すようにして講演を楽しんでいました。高木氏は「発想を持って挑戦すること、素直になること、それには努力が必要」として、最後に「感謝の気持ちと持ち物（道具）を大切に」と結びました。

終了後には会員から野球少年一人ひとりにプレゼントの野球ボールを手渡しました。子どもたちの生き生きとした笑顔が印象的でした。今後もスポーツを通して、次代を担う子どもたちが明るく素直に育っていくことを会員一同心から願っております。

（幹事／伊藤弘美）

（編）「心の東京革命」とは、石原慎太郎東京都知事の提唱で、青少年の心の育成を目指す取り組みです。

連絡先→TEL03・3957・0891

宮崎県延岡市内4クラブ

青色灯を4団体に贈る

社会奉仕を目的とする延岡、延岡向洋、延岡中央、延岡五ケ瀬の４ライオンズクラブは2月13日、延岡市内で地域安全活動に取り組んでいる４団体に防犯パトロール用の青色灯とステッカーを贈った。

青色灯は車の屋根、ステッカーはマグネット式でドア部に装着して使用する。延岡地区防犯協会、西階地区地域安全推進委員会、延岡地区少年補導員連絡協議会、東海地区青少年育成連絡協議会が各1個ずつ受け取り、各団体の車両に装備した。

青色灯は平成16年12月1日から、警察署が適正な防犯パトロールを実施していると認めた者に対してのみ、一般車両への装着が認められている。青色灯を装備する車両も陸運局の検査証が必要となる。

贈呈を受けた４団体は、最低週1回、児童・生徒の下校時間帯を中心に車両パトロールを実施するという。延岡署の柄本重敏署長は「青色灯パトロールが相当な防犯抑止力になることは間違いない」と期待している。

贈呈式は延岡警察署であり、延岡ライオンズクラブの松下幸市会長が「全国で相次いでいる子どもを狙った凶悪犯罪を受け、自分たちに出来ることはないかと協議して贈呈を決めた。延岡から少しでも犯罪がなくなれば」とあいさつした。

贈呈式後、延岡署前で青色灯とステッカーを付けた車両の出発式があり、各団体は一斉にパトロールへ出発。白バイが先導し、同署や市の職員が拍手で見送った。

（『夕刊デイリー新聞』2月15日）

（編）２００４年12月から青色灯の一般車両への取り付けが認可されました。「青色灯パトカー」の存在は犯罪抑止力と同時に、子どもを始めとする一般市民に安心感を与えてくれるでしょう。民間も社会を守る役割を担っているという意識向上にもつながると思います。

連絡先→TEL０９８２・３４・０００１

333-B地区第4リジョン
リジョン合同新会員研修会

2月11日、土浦京成ホテルで新会員を対象とした研修会が開催された。講師には柴利夫地区ガバナー、岡野劼好地区常任名誉顧問、片岡祥二キャビネット幹事、久保庭優治地区会員会則委員長を迎え、各クラブ三役、クラブ会員理事、新入会員ら総勢59人が受講した。

柴地区ガバナーは「茨城、栃木のライオンズクラブの組織、歴史」について講義。次に岡野名誉顧問が「地球に愛されるアクティビティ」として、地域共生に沿った奉仕事業の重要性を説いた。また、片岡幹事は入会の動機に始まり、プラス思考による例会出席の楽しさを訴え、最後の久保庭委員長も「クラブ例会を大切に」と題し、例会出席は大切なメンバーの義務であると語った。

研修会は14時半から16時まで行われ、続いて開かれた懇親会では喉の渇きを潤し、和やかな歓談のうちに閉会となった。

(第4リジョンPR委員／山川茂行)

(編) 入会間もないうちにライオンズで活動するためのモチベーションを高め、また同期入会者同士がクラブを超えたつながりを作るのは、会員維持に大変有効だと言われます。

連絡先→TEL029・823・2434

静岡県・掛川ライオンズクラブ
薬物乱用防止啓発奉仕活動

2月11、12日、掛川サッカー協会主催の「第8回ライオンズ旗争奪ジュニアサッカー大会」が、掛川市の小笠山運動公園人工芝グラウンドを主会場として開催されました。その会場で掛川ライオンズクラブ(松井俊二会長／46人)は薬物乱用防止キャンペーンを掛川警察署の協力を得て開催致しました。

当日は掛川地区のみならず、県外から参加するチームもあり、計40チーム、対象者は600人を超えるということで会員は大張り切り。県警本部所有の薬物乱用防止キャラバンカーも参加し、警察関係者も多数応援に駆けつけてくださいました。

コーチに連れられた5、6年生のチーム単位で薬物乱用防止教育講師から薬物乱用の怖さの話を聞き、ビデオを見て、キャラバンカーに展示されている資料で勉強。参加した関係者は子どもたちのあまりにも真剣な姿に驚かされました。

サッカーの試合も順調に進み、頂点に立った掛川JFCチームに、ライオンズ・マークが染め抜かれた紫紺の優勝旗がクラブ会長から手渡されました。

青少年健全育成のアクティビティとしてこのサッカー大会を助成後援して8年になりますが、このような形で子どもたちと接することが出来るとは思ってもいませんでした。

薬物乱用防止キャンペーンは私たちクラブでは初めての経験だったので不安がいっぱいでしたが、何とか成し遂げることが出来たことで、今後も継続事業として考えていこうと話し合いました。(幹事／高橋國夫)

(編) チームメイトと「ダメ。ゼッタイ。」の意識を共有することで、薬物の誘惑に直面した時もそれを回避する方法を一緒に考えられるのではないでしょうか。

連絡先→TEL0537・24・4373

まるごと 331複合地区

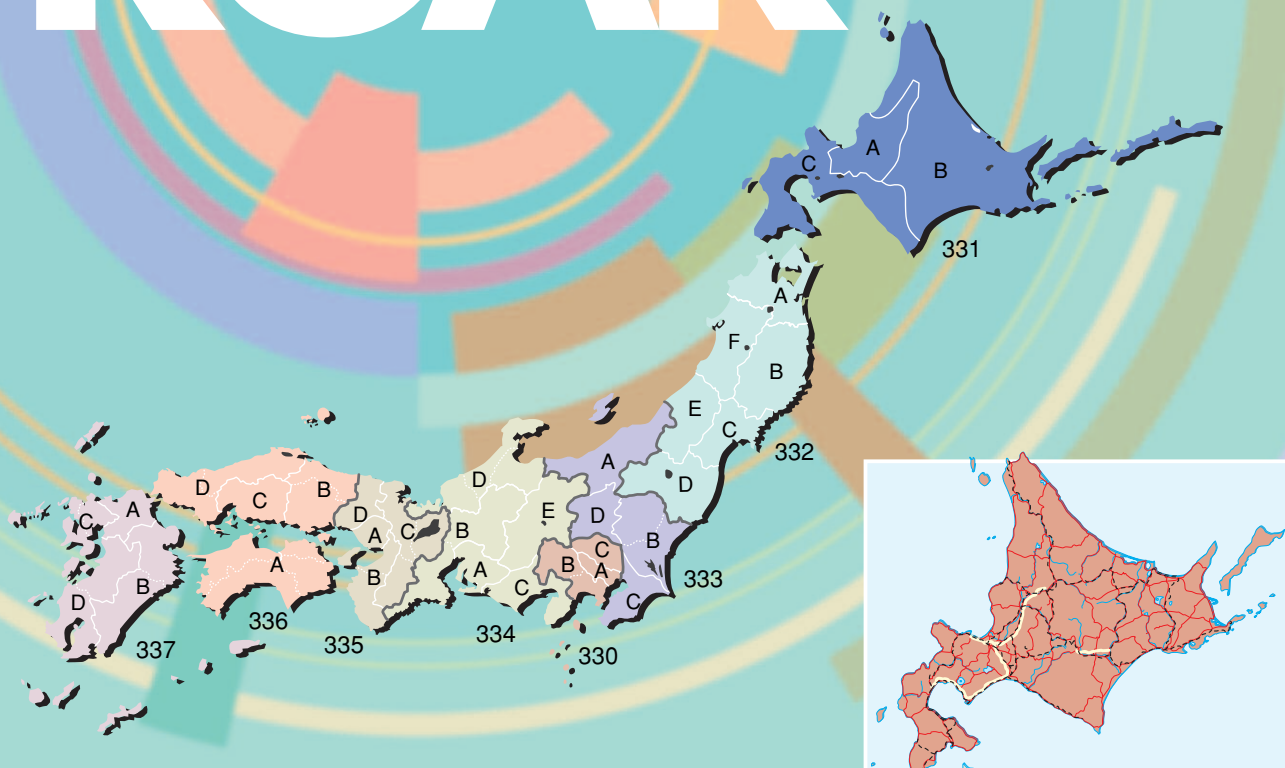
Topics

1. 北海道札幌クラーク
2. 北海道札幌リバティ
3. 北海道北見中央
4. 北海道名寄
5. 北海道室蘭北斗
6. 北海道小樽グリーン

日本の風景　北海道阿寒

ふるさと探訪　北海道江差

ROAR

331　332　333　334　330　335　336　337

小学生がサケを育てて 環境保護と命の尊さを学ぶ

北海道・札幌クラーク・ライオンズクラブ

■取材／編集部

人口180万を誇る北の都・札幌。その中心部を流れる豊平川に毎年秋、約3000匹のサケが遡上する。水質悪化などでサケの消えた豊平川に、再びサケが戻ったのには、札幌クラーク・ライオンズクラブ（洞内俊会長／34人）の活動も大きく貢献している。

同クラブでは毎年、札幌市豊平川さけ科学館の協力で、小学校にサケの卵を配り、育った稚魚を川に放流する「サーモン・スクール」を行っている。子どもたちに、環境保護や命の尊さについて考えてもらうのが狙いで、28回目の今年は、市内の小学校24校が参加している。

同スクールは例年12月初旬、さけ科学館でシロサケの受精卵100個を子どもたちに手渡して始まる。子どもたちは、受精卵をそれぞれの学校に持ち帰り、クラブが各校に寄贈した特注の水槽でふ化させる。稚魚が体長6㌢前後に育つ4月中旬、クラブが盛大に「豊平川サケ壮行会」を催し、子どもたちは稚魚を川に送り出す。

2月末、実際にサケの稚魚を育てている様子を見に、市立真駒内曙小学校にお邪魔した。廊下に置かれたサケの水槽には、4㌢ほどの稚魚が元気よく泳いでいた。なりは小さいが、体の模様は確かにサケである。飼育を担当している5年生の児童たちに話を聞くと、「水温を一定（8℃）に保つのが大変」「すごくかわいくて、放流するのはちょっと悲しい」とのこと。

同小の城崎則幸教頭は「サケの飼育を通して、子どもたちに優しい心が育つ。教科書では学べない『心』の勉強になる」と評価する。

サケ壮行会では、各校の子どもたちが「元気でね」「また戻って来いよ」と声を掛けながら、川岸からコップに入れた稚魚を一斉に流す。川には稚魚を食べようとカモが待ち構えているそうで、のっけから厳しい旅である。

放流されたサケは石狩湾に出てベーリング海まで回遊し、3～4年後に体長約70㌢に成長して豊平川に帰ってくる。その確率は0・5％という。

このアクティビティの立ち上げに奔走した山口富雄元会長は「稚魚は大事に世話しないとすぐに死んでしまう。子どもたちも親が大事に守っているからこそ生きられる。そういうことを知ってもらうのもいい教育になるのでは」と話していた。

Topics トピックス2

世代間のコミュニケーション強化を図るテーブル・ディスカッション例会

北海道・札幌リバティ・ライオンズクラブ

■取材／編集部

2月22日、札幌リバティ・ライオンズクラブ（戸澤亨会長／33人）の第2例会では、新会員2人の入会式が行われていた。新会員2人は声を揃えて「ライオンズの誓い」を宣誓し、会長から胸にラペル・ピンを付けてもらう。35歳と41歳の2人を迎え、クラブの平均年齢はまた少し下がった。同クラブでは最近、30～40代の会員を増やして若返りに成功している。今年度の羽生功二幹事や西村一之計画委員長ら40代前半の若手が運営に活躍中だ。しかし悩みもある。会員がベテランと若手に二極化して、本来ならクラブの中核として両者の間で橋渡し役となるはずの中間層が欠けているのだ。

日本のライオンズ全体を見ても、現在のように会員の高齢化が進んだ原因は、次代を担う人材の育成が継続的に行われてこなかったところにある。近年、若い会員の増強が急務とされているが、札幌リバティ・ライオンズクラブと同じような悩みを抱えるクラブは決して少なくないだろう。

今年度のスタートにあたり、戸澤会長が西村計画委員長に出した要望は、例会の出席率アップと、ベテランと若手のコミュニケーションを図る例会を企画してほしい、というものだった。それに応えたのが、テーブル・ディスカッション例会である。

11月第1例会は、まず、若手とベテランをうまく組み合わせてグループを組んでテーブルに配置。若手からベテランへ、普段から疑問に思っていること、感じていることなどを遠慮なくぶつける。「なぜ、例会では毎回ドネーションを払わなければならないのか？」「奉仕活動はどうあるべきか？」などの質問が飛び出した。答えや結論を導き出そうというのではない。本音で話し合い、相互に理解を深めようというのがこの企画の狙いである。「決して楽しいばかりではないけれども、先輩、後輩を抜きにして本音をぶつけ合い、みんなが何を考えているかがよく分かりました」と羽生幹事は話す。この企画は大好評で、12月第1例会の予定を変更し第2弾を行った。「今年度25周年を機に過去を振り返って将来に生かすためにも良い企画でした」と戸澤会長は話す。

冒頭の例会では、入会式に続いて各委員会の委員長からそれぞれの役割を解説するスピーチが、続く3月第1例会では新会員2人によるスピーチが行われた。一日も早くクラブに馴染んでもらおうという計画委員会の配慮がうかがえる。そうした努力の成果か、3月末現在の退会者は死亡退会1人のみ。リテンションにも成功している。

トピックス3 Topics

「友情　ほほ笑み　フェアプレイ」を掲げ ミニ・バスケットボール大会開催

北海道・北見中央ライオンズクラブ

■情報提供／奥村嘉明（PR情報委員長）

北海道北東部、オホーツク地域の中央に位置する北見市は、知床、阿寒、大雪山の三つの国立公園と網走国定公園を抱える道東観光の拠点都市。今年３月には周辺３町と合併し道内一の面積と網走支庁最大の人口を抱える大都市となった。

この北見に初めてミニ・バスケットボール少年団が創設されたのは21年前。北見中央ライオンズクラブ（河村喜太郎会長／50人）が、少年団創設者の田巻司史氏から直々にミニ・バスケットボール大会を開催してほしいとの要請を受けたのもこの年である。

「はて、バスケットボールの一種らしいが、耳慣れない競技だ」と思ったものの、メンバーが我が子に聞いてみると、学校でも取り入れられていると言う。ならばライオンズとしても、この競技を通して子どもたちが楽しみながら健やかな成長が出来るよう、日頃の練習の成果を発揮出来る大会を主催しようじゃないか、となった。

さて、ここでミニ・バスケットボールと一般のバスケットボールとの主な違いをレクチャーしておこう。ミニ・バスケットボールは12歳までの小学生によって行われる。ゴールが約50センチメートル低い。５号ボール使用（一般のバスケットボールは７号）。試合時間が６分×４クオーター（一般は10分×4）。そして各チーム５人でゲームを行うのは同じだが、選手交代が頻繁で、10人以上15人以内の選手が少なくとも1クオーターに出場しなければならない。多くの子どもたちに出場の機会が与えられるということだ。

当初は市内の小学生チームだけでスタートした大会だが、口伝えに評判を呼んで参加希望校が増え、現在では網走支庁管内を対象に行われている。今年２月に開催された第21回大会には56チーム８００人が参加。八つの会場で２日間にわたるトーナメント形式の熱戦が繰り広げられ、A、Bグループそれぞれで男子の部、女子の部の優勝から３位が決定した。クラブからは優勝旗とトロフィー、賞状、そして３位までの全選手にメダルと、参加選手全員に記念品を贈呈している。

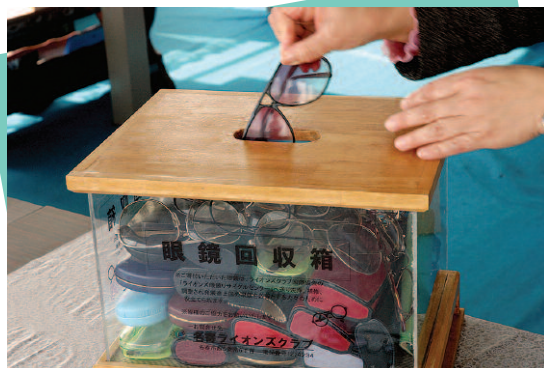
北見の児童が大きな励みにし、心待ちにしている大会は20年を超え、親子２代が選手という例もあるという。２代そろって感謝の言葉などを掛けてくれたりすると、メンバーたちも大感激、３代も４代も続けてやるぞ、なんて思ってしまうのだった。

Topics トピックス4

市民も参加出来る身近な国際貢献 中古眼鏡リサイクル

北海道・名寄ライオンズクラブ

■取材／編集部

名寄ライオンズクラブ（永井秀正会長／48人）が中古眼鏡の収集に取り組み出して2年目になる。

前年度、今井茂会長の下、市民も参加出来る身近な活動を模索。いろいろ調べるうち、国際協会公式ウェブサイトで、中古眼鏡リサイクルの記事を見つけた（www.lionsclubs.org/JA/content/vision_eyeglass_recycling.shtml）。それを元に検討した結果、国際プログラムであることはもちろん、ライオンズのお家芸・視力関係の事業であること、また国際貢献が出来ること、市民からも協力を得られることなどが決め手となり、取り組んでみることにした。

初年度は名寄市役所、JR名寄駅を始め、信用金庫、郵便局など7カ所に回収箱を設置。地域への告知は、チラシを配布すると共に、新聞各社に事業の概要を報道してもらい、市民の協力を求めた。

それらが実を結び、4月からのスタートだったにもかかわらず、わずか2カ月余りで約200点の眼鏡やケースが集まった。現在、中古眼鏡のリサイクル・センターはアメリカ、カナダ、フランス、イタリア、スペイン、南アフリカ、オーストラリアの7カ国に13カ所があるが、名寄ライオンズクラブはこのうち、扱い数が最も多い（04年度は約100万個）アメリカ・インディアナ州のライオンズ眼鏡リサイクル・センターに送付した。

その後、クラブは事業報告を本誌クラブ・リポートに投稿。05年9月号に掲載されると、青森、東京、静岡、岡山、長崎など、全国のクラブや会員から照会があり、アクティビティを通じた交流も生まれた。また、名寄ライオンズクラブのホームページ（www14.plala.or.jp/nayorolc/）を見た東京の女性から眼鏡が送られてくるなど、さまざまな反響も寄せられた。

それら一つひとつがクラブにとって力となり、今年度も新たなアイデアを出しながら、継続事業として中古眼鏡の収集活動に取り組んでいる。

「市民も参加出来る身近な国際貢献」として始まった中古眼鏡の収集。去年は少なかった市役所の回収箱が、今年は既に満杯となり、いったん回収をしなければいけなくなるなど、市民からの反応も徐々に大きくなっている。どうやらクラブの狙い通り、少しずつ市民とライオンズの距離を縮めながら、奉仕の実績を重ねているようだ。

スキー場で「1日里親会」開催
子どもたちがスノーモービルに挑戦

北海道・室蘭北斗ライオンズクラブ

■取材／編集部

室蘭市内の児童養護施設と、ろうあ児施設の子どもたちを対象にした室蘭北斗ライオンズクラブ（堀寿会長／38人）主催の「だんパラ1日里親会」が2月19日、むろらん高原だんパラスキー場で開かれ、子どもたちがスノーモービルに体験試乗した。数人のライオンが所属する室蘭スノーモービルクラブの協力で毎年行っているもので、今年で16回目。両施設の子どもと在宅の障害児、ボランティアら90人が招かれた。

子どもたちは交代で、同クラブ会員の運転するスノーモービルに乗って、ゲレンデの隣にある雪原を滑走、スピードとスリルを楽しんだ。

ライオンズとライオン・レディー30人は、会場設営や乗降の補助などを担当、温かい甘酒も振る舞った。昨年は、吹雪でテントが吹き飛ばされたが、この日は例年にない晴天にほっとした様子で、太平洋をバックに歓声を上げる子どもたちを見守っていた。

スノーモービルの排気量は、軽自動車を上回る800ccほどで、最高速度は時速120キロ。運転したライオン篠山剛は「子どもの障害の度合いによってスピードを加減している。中には『もっと速く』と言う元気な子もいて、最高で時速80キロぐらい出す。喜んでもらえてうれしいね」と話す。

子どもたちは、雪を巻き上げながらの急ターンや、こぶを利用してジャンプするマシンから振り落とされまいと、懸命に運転者にしがみついていた。

どんなものかと、試しに乗せてもらったが、車高が低いため、とてもスピード感があり、実にそう快。子どもたちが何度も乗りたがるのがよく分かった。

初体験の女子中学生（13）は「宙に浮いてすごく怖かったけど、楽しかった」と息を弾ませていた。そのほか、ソリ遊びや綱引きも行われ、子どもたちは雪まみれになって楽しんでいた。

堀会長は「室蘭の人口は一時期に比べて半減した。クラブも会員数が減って厳しい状況にある」と明かす。以前、里親会の開催を見送ったところ、子どもたちから「やってほしい」という声が多く寄せられたという。ろうあ児施設職員の奥芝香奈さんは、「子どもたちが最も楽しみにしている行事の一つ。普段見られないような笑顔がたくさん見られてうれしい。これからも、ぜひぜひ続けてほしい」と期待を寄せていた。

Topics トピックス6

草創期メンバーの情熱を受け継ぐ ろう学校招待スキー

北海道・小樽グリーン・ライオンズクラブ

■取材／編集部

今から30年余り前、小樽グリーン・ライオンズクラブ（前田耕治会長／30人）は、車いすのまま乗り降り出来るバスの必要性を訴えて大きな市民運動を巻き起こし、小樽の町に福祉バス「みどり号」を走らせた。結成8年目に成し遂げた記念碑的アクティビティである。「奉仕とは何か？　ライオニズムとは？」。草創期の会員たちは夜を徹して議論し、アクティビティを実現させていった。その一つが、現在まで続く北海道小樽ろう学校招待スキーである。当初は小学生アルペン・スキー大会を後援していたが、大会が軌道に乗ったのを見届けて身を引き、今度は障害のある子どもたちにもスキーを楽しんでほしいと、当時は盲ろう学校だった同校の児童、生徒を招待した。1971年のことだ。

第36回目を迎えた招待スキーは2月21日に市内の朝里スキー場で開かれた。今年の小樽は大雪と厳しい寒さに見舞われたが、この日の空は晴れ渡り春のような陽気に恵まれた。ろう学校で学ぶ小、中学生12人のうち病欠1人を除く11人と、教職員や父兄らを加えて30人が参加。かつては児童、生徒だけで60人が参加する時期もあったが、年々減少している。メンバーは朝8時半から、荷物の搬入や設営、参加者の搬送に手分けして当たり、9時半に開会。そりで遊んだり、この日がスキー初体験という児童もいたが、さすがは道産子。ほとんどの子がさっそうとした滑りを見せる。同校では1シーズンに2回スキー教室を行うが、うち1回がこの招待スキーである。スキーの他に田植えと稲刈りの体験に招待するアクティビティもあるので、ろう学校の子どもたちとは顔なじみだ。「今日は元気がないなあ」。いつもは元気いっぱいの男子児童が、なぜだかちょっとおとなしいのだ。

お昼を前に雪上に並べたお菓子の詰め合わせを走って取りに行くという簡単なゲームも用意。元気に駆け寄る子どもたちに続き、下肢の不自由な子も一生懸命に這い進む。プレゼントに手が届いた瞬間に大きな拍手が沸き起こった。昼食をはさんで小学生たちは学校に引き上げ、中学生は午後2時過ぎまでたっぷりスキーを楽しんで閉会。閉会式では岩尾正夫校長から、「児童、生徒数は少なくっていますが、子どもたちはみんなこの日を楽しみにしています」とお礼の言葉が述べられた。

北海道・阿寒
火山と森と湖と まだまだ手つかずの大自然が残る阿寒国立公園

■切画：風祭竜二 文：編集部

春分の日の3月21日、雌阿寒岳（1499㍍）が8年ぶりに噴火した。小規模噴火ながら、地元住民や関係者には心配なニュースだろう。

阿寒には雌阿寒岳のほか、阿寒富士（1476㍍）、雄阿寒岳（1371㍍）という二つの活火山がある。周囲にはマリモで有名な阿寒湖や、ペンケトーとパンケトー、それに神秘の湖と呼ばれるオンネトーなど、これらの火山による堰止め湖が点在している。

また、阿寒湖温泉と野中温泉（雌阿寒温泉）という、二つの温泉地を持っている。阿寒湖温泉の方は完全に観光地化しているが、雌阿寒温泉は原生林に囲まれた静かな雰囲気を残している。雌阿寒岳への登山口にもなっており、この辺りはアカエゾマツの美しい森が見られる。表紙の写真も、ここで撮影した。現在は噴火により入山禁止となっているが、入口から20分ぐらいの間は傾斜が緩く、林相が非常に美しいので、入山禁止が解除されたら、ぜひ散策してみて頂きたい。

ところで、雌阿寒温泉がある足寄町は去年の1月まで、日本一広い市町村だった。が、このところの市町村合併で、岐阜県高山市、静岡県浜松市、栃木県日光市、北海道北見市に抜かれ、今は5番目になっている。ちなみに阿寒湖温泉は昨年10月、阿寒町が釧路市と合併し、新生釧路市となっている。（鈴）

観光一口メモ

阿寒国立公園は「火山と森と湖」の公園と呼ばれる。公園内にはいくつかの拠点を結ぶ車道が整備され、それを周回するのが一般的。国道241号線沿いにある双湖台からはペンケトーとパンケトー（アイヌ語でペンケが上、パンケが下）が望める。オンネトー湖畔を1周出来る歩道には小展望台、大展望台、展望テラスが設けられている。阿寒湖畔にビジターセンター。

アクセス

車を利用。阿寒湖までは、釧路空港から約1時間、JR釧路駅から約1時間半。

周辺クラブ

釧路市阿寒町には1966年に誕生した阿寒ライオンズクラブが、また足寄町には69年結成の足寄ライオンズクラブがある。

ふるさと探訪

北海道・江差

波の谷間にこだまする 魂に響く哀調の調べ

■文／砂山幹博　写真／田中勝明

❶

船乗りたちが歌い継いだ往時の江差

　江戸末期、春にニシンの大群が押し寄せ、北陸方面からたくさんの北前船が買い付けに来ることから、「江差の五月は江戸にもない」と、その繁栄を歌にまで詠まれた北海道の港町・江差。豊かな資源を求めてこの地に渡って来た本州の人々は、初めて目にする蝦夷地の山河を眺め、「かもめの啼（な）く音（ね）にふと目を覚まし、あれが蝦夷地の山かいな」と唄った。寄せては返す波のような抑揚のあるこの唄は、日本を代表する民謡「江差追分」、民謡の王様とも形容される。起源は定かではないが、信州で歌われていた馬子唄が越後を経て舟歌となり、江戸時代に北前船によって伝えられたという。

❷

【扉写真】短い歌詞にどことなく哀愁を帯びた節回しには、どうしても「波」を連想してしまう
❶蝦夷地・江差までたどり着いた北前船が錨を下ろした鴎（かもめ）島。島の岩盤には係留柱を入れる穴が今も残る
❷ニシン群来をもたらしたという伝説が残る奇岩「瓶子岩」。今でも漁業を営む者の信仰の対象となっている
❸「江差追分」は8種類ある声の出し方を使い分け、7声の一節を約25秒かけて唄う。その間息継ぎすることは許されない

　江差追分は通常、前唄・本唄・後唄の3部からなる。前唄は本唄を歌うための声ならし程度に、後唄は本唄の張り詰めた気分を和らげるために歌う。あくまで主体は本唄。ちなみに前述した唄は、数ある本唄の中でも最も歌われるものである。30文字に満たない歌詞は、約2分40秒掛けてゆっくりと歌い上げられる。
　二声上がり七つ節という今日の基本的な曲調が確立されたのは、明治42年。それまでは北海道らしい自由な風土の下で「我流」の江差追分が数多く生まれたが、この年に一つに統合された。一つになった追分は「正調江差追分節」と呼ばれ、今日の江差追分の礎となっている。

江差追分と共に歩んで

　正調江差追分節普及のため、昭和38年から「江差追分全国大会」が開催されている。全国各地に約4千人の会員が存在するほどの人気ぶりである。決勝大会が行われるのはもちろん聖地・江差。全国から予選を勝ち抜いた約400人が出場し、日本一を賭けて戦う。過去に43回の全国大会が行われている。今や江差追分の第一人者として活躍する青坂満さん（写真❸）もこの大会の優勝者である。
　鴎（かもめ）島のすぐ目の前に、不思議な形をした岩が海から突き出ている。瓶子（へいし）岩は江差のシンボルにして漁の神様。青坂さんが生まれたのはこの奇岩を見渡せる漁師の家である。
「毎年7月には鴎島のお祭りがあって、私の家に漁師が集まります。だんだん酒が回ってくるとある人が追分を歌い出す。4歳だった私は親父の膝の上で子守歌のように追分を聴

いたものです」

物心ついた時から親しんだ追分に、本格的に取り組んだのが15歳の時。とは言っても、青坂さんの本業は漁師。1日のほとんどは漁に出ている。それでも漁の合間に師匠の下に通い続け、1年掛けて本唄を覚えた。ところが覚えたら覚えたで、師匠がいろいろな所へ青坂さんを連れ出すようになる。漁と追分の二足のわらじ生活は、以前に増して激しくなる。

「疲れ疲れてどうしようもなかったけれど、追分を唄いたくてね。寝る暇を惜しんで練習したものです」

江差追分の全国大会が始まると、6回目の挑戦で見事優勝。その後は日本各地で追分を披露して回り、42歳で自ら道場を開いて師匠に。ますます多忙な生活となった。

昭和57年に江差追分会館が完成すると、漁師の仕事は息子さんに譲り、翌年から追分指導員として会館勤めを始めた。今は会館を訪れる人たちに追分を披露する毎日を送っている。

4月末から10月の間、江差追分会館では観光客向けに毎日追分が演奏される。土曜日と日曜日は尺八が付き、平日は三味線だけの伴奏で、江差在住の全国大会優勝者がその歌声を披露する。もちろん青坂さんもその一人だ。

「かもぉーめエッ、エ」

独特の節回しが会場内にこだまする。しばらくして節の終わりになると「ソイーッソイ」という合いの手も入る。この三味線奏者によるソイがけに合わせて、尺八が鳴り響く。

「三味線に合わせて唄う他の民謡とは違い、追分は歌い手の唄に合わせて三味線を弾きます」と、三味線奏者の浅沼和子さんは言う。尺八の福田照明さんも、「他の民謡の場合は、楽器をガンガン鳴らせるけど、追分は唄がメーンだからそうはいかない。歌い手に迷惑を掛けないように追いかけていきます」と同調する。

❹追分人形を作成中の瀬川さん。現在、頭（かしら）と呼ばれる日本髪の頭部を入手することが困難だという
❺かつて松前藩政を支えた回船問屋や土蔵が軒を連ねた通りに、今もたたずむニシン御殿「中村家」
❻江差追分を唄うため故郷に戻ってきた安澤望さん。見慣れない独特の記号で表された江差追分の譜面の前で

江差追分を今に継ぐ

「江差追分踊り」という踊りがある。追分の調べに合わせ、アイヌの厚子（アッシ）柄を染めた衣装で女性たちが優雅に舞う。その昔、芸者さんの踊りだったが、次第に一般の人の踊りとして定着していった。

昭和28年、人形作りをたしなむ川端フクさんが「江差は追分の街だから、何か土産になるようなものを」と、追分踊りの人形を作り始めた。着物の模様は、かつて呉服屋を営んでいた夫武次郎さんが手書きで描いたものだ。「追分人形」は夫婦の合作としてこの世に誕生した。

昭和53年にフクさんと武次郎さんが他界。跡を継いだのは二人の娘の瀬川五百子さん。現在、唯一人となる江差追分人形の作り手である。難しいのは追分踊りの雰囲気を出すこと。「いまだに母にはかないません」と話す。

実際の踊りでも使われる「櫂」を手にしているのが、追分人形の特徴だ。その櫂には「江差追分」と書かれているが、筆は旦那さんの手によるもの。夫婦による合作は二代にわ

たって続いている。
安澤望さんは埼玉県の大学を出た後、悩んだ末に生まれ故郷の江差に帰ってきた。悩みの理由は、江差追分である。
小中高と追分を習っていた。「江差から離れてからいろいろな人の追分を聴きましたが、離れているせいか鳥肌が立つような感動を覚えたことが何度もありました」と、安澤さんは当時を振り返る。
現在は、江差町教育委員会の職員として働く傍ら、思う存分追分を唄う毎日だ。昨年の全国大会で初めて八位入賞を果たした。目下の目標は全国大会優勝。
「先生たちには、優勝するまで結婚させないと言われています（笑）」と、笑顔を見せる。
浜に押し寄せるニシンの群来（くき）や、北前船の往来は今や幻だが、魂を揺さぶる追分の歌声に、人の心は今もなお海を越えて引き寄せられるようである。

開陽丸

鴎島のすぐ近くに、3本マストの帆船の姿を見ることが出来る。帆船は、幕府海軍副総裁・榎本武揚率いる艦隊の旗艦で、江差沖で座礁・沈没した開陽丸を復元したものである。
開陽丸は、1866年にオランダで建造された木造機帆走軍艦。当時、幕府が所有していた船の中では最強の軍艦であった。慶応4年に戊辰戦争が勃発すると、榎本武揚らを乗せた開陽丸は江戸品川沖を脱出。その後、新撰組の土方歳三らと合流し、蝦夷地へと攻め込んだ。榎本率いる旧幕府軍は箱館の五稜郭を占領した後、松前藩最後の防衛線である江差へ進軍を開始。その援護をするため開陽丸も11月11日に箱館を出港して江差へ向かい、4日後に江差沖に到着。しかし、その日の夕方から土地特有の風浪（タバ風）が強まり、夜には暴風雨となった。沖合に碇泊していた開陽丸は、この強風によって碇が効かなくなり、海岸方向へと流され座礁。数日後、榎本や土方が見守る中、沈没した。
平成2年4月に、鴎島前に現れた開陽丸は、オランダに残っていた設計原図を基に復元されたもの。内部には、海底に沈んでいた開陽丸から引き揚げられた遺物約3500点が展示されている。

開陽丸を失った榎本軍は、翌年降伏を余儀なくされた

クラブ紹介

江差ライオンズクラブ（由利公平会長／20人）は、1962年に函館東ライオンズクラブのスポンサーにより結成された。クラブ誕生以来、多くのアクティビティを行ってきたが、特に力を入れているのが、青少年の健全育成と交通安全運動だ。
81年には江差から北へ車で30分ほどの厚沢部町に、厚沢部ライオンズクラブをエクステンション。北前船の関係で滋賀県・能登川ライオンズクラブと姉妹提携した他、青森県・弘前チェリー・ライオンズクラブとは友好関係を結び、互いに交流し、親交を深めている。2002年には、クラブ結成20周年を記念して、消防訓練に使用する救急介護用の人形と、特別養護老人ホームにいすを寄贈。また、江差町民の手作りで企画・運営され、政治や社会、文化をテーマに講演を行う江差地域大学に講師を招聘し、未来における地域の発展を考えていると言う。
■江差ライオンズクラブから読者プレゼントがあります（65ページ）。

活動の評価はどうして必要なのだろう?

■坂本信雄（京都府・亀岡保津川クラブ）
京都学園大学経営学部事業構想学科教授

イラスト／藤英毅

前回は、活動資金の集め方、使い方を通じて「自己完結型のライオンズクラブ、外部一体型のNPO」と特徴づけた。そして、そのような特徴は組織体の評価にも結びつくことを述べたが、今回はこれに焦点を当ててみよう。

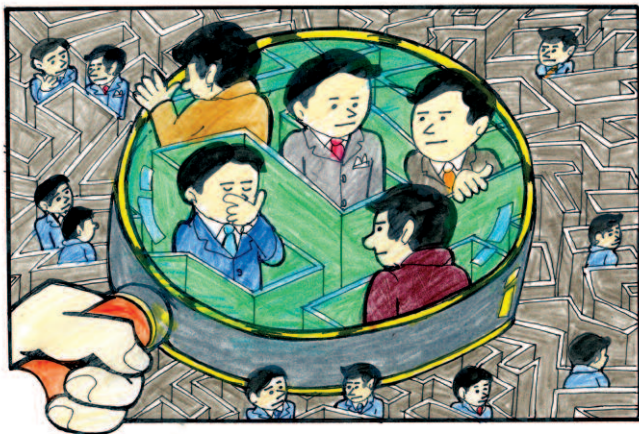
業績の評価は民間企業はもとより、行政も含めて広がりつつある。これがおよそボランティア団体になると「評価になじまないのではないか」と、誰もが一瞬戸惑う。確かに「良いことをしているのだから」だけでは評価の発想が出てこない。しかし、このことがややもすれば自己満足に陥り、やがて組織体の存続に致命的な打撃を及ぼすことになりかねない。

そもそもボランティア活動を評価するのは難しい。会社であれば売上高や経常利益などが尺度になるが、ボランティア活動は労力の提供時間で測るのか、事業資金の額で測るのか。ましてや仮に活動を数値化しても異なる団体間の比較が容易ではない。例えば、ライオンズクラブの視力ファーストとNPO法人のエイズ予防をどう比較することが出来るだろう。それでも評価が大事なのはなぜだろうか？

著名な経営学者・社会学者であるピーター・ドラッカーは、非営利組織の自己評価法として以下のことを指摘している。

ピーター・ドラッカーの「非営利組織の自己評価手法」

1．われわれの使命は何か
2．われわれの顧客は誰か
3．顧客は何を価値あるものと考えるか
4．われわれの成果は何か
5．われわれの計画は何か

結論から言えば、活動の成果を何らかの形で測らなければ、失敗しているのか、成功しているのかが分からないということである。成功を生かし、失敗を改めるという教訓は、どのような活動でも欠かせない。従って評価は、その組織にとって効率よく使命や目標を達成するための作業ということになる。教科書的に言えば、評価には組織評価と事業評価がある。前者は、組織全体の効率的運営の評価であり、後者は事業そのものを評価する。

評価は、その方法や判断基準、評価する主体などによって結果が左右される。つまり、評価は万能ではない。重要なのは、評価の結果そのものよりも評価のプロセスになる。そして、評価の結果を公開して、一般の人々からも意見を求めることである。

ここで、ライオンズクラブを見ると、内部評価に相当する地区年次大会におけるクラブ表彰は、クラブ関係者によるクラブ関係者のための評価に止まっている。単一クラブや地区段階でのPRと同様、事業の成果を会員に伝える仕組みはあるが、それを第三者に伝える発想に乏しいと言えよう。

これに対して、NPO法人などは事業の結果がその後の事業収入や寄付額などを左右するだけに、業務や活動の透明性に配慮して支援者などとの信頼性の醸成に努めている団体が多い。中には外部評価まで導入している事例もある。それは明日を生き抜く団体の姿と言えよう。

獅子吼

題字／大塚　武臣（大分県・豊後高田）
（投稿要領→63ジペー）

●獅子吼（ししく）①仏が説法するのを、獅子が吼えて百獣を恐れさせる威力にたとえていう語。②大いに熱弁をふるうこと。（広辞苑）

退会しなくてよかった

小林　数雄（山梨県・甲府シティ）

3年前、私が病に襲われたのは何の予兆もなく、突然のことでした。

医者の宣告も厳しく、絶望しました。身内の大手術、長兄の死すら知らされることなく、何本もの点滴と絶対安静の日々でした。

心身の失調を余儀なくされ、煩う頭で甲府シティ・ライオンズクラからの退会を決意していました。紆余曲折はあったものの、20年余り在籍させて頂いたライオンズクラブ。そのクラブを退会せざるを得なくなった我が身の不運を哀れに思いました。

失意に陥っていた時、100歳に手が届こうという義母が、見舞ってくれました。義母は、

「小林君、今、こうして点滴を受けていることを闘病と言うんだよ。闘病とは、今、小林君を苦しめている病と闘うことだよ」

と諭してくれました。

この義母の言葉に勇気をもらい、病身に鞭打ち、医者の目を盗んで病室の手摺りにしがみついて歩きました。その後、リハビリ専門病院に転院して、がむしゃらに病と闘い、そのかいあってか、医者も驚くほど早く快方に向かい退院しました。

そして、不安を抱えながら半年ぶりにクラブ例会へ出席しました。

メンバーの皆さんが「おめでとう。待っていたよ」と万雷の拍手で迎えてくれました。孤独感にさいなまれ、煩悶したことが、杞憂に過ぎなかったと、長い闘病生活を見守っていてくださった友情に涙しました。

例会に、奉仕活動に、また、個々の親睦の集いに参加させて頂く折々にメンバーの皆さんの気配りを肌で感じ、心の中で合掌しております。

これからも、クラブの皆さんのお力を頂きながら、一病息災を肝に銘じ、大らかに人生を歩んで参りたいと思っております。

（水産物卸・69歳）

「団魂の世代」をライオンズに

坂田　光輝（熊本県・荒尾）

2007年から、昭和22年～24年生まれの「団魂の世代」の定年退職者が急激に増えると言われています。

彼らは黙々と働き、日本の経済成長を支えてきました。そして来年辺りから、熟年世代の仲間入りをするわけです。

総数700万人といわれる団魂の世代のうち半数は女性で、専業主婦として年上の夫と共にリタイア生活に入った人が多く、男性でも現在では、いわゆる大企業で定年まで勤め上げる人は少数派であります。

この団魂の世代は、さまざまな分野で活躍しては高度経済成長にのって、石油パニックやバブル崩壊を経験しながら生活して、公的年金も正確に出る世代でもあります。
そこで、人生80年として、彼らはあと20年は経済力と体力を備え時間的な余裕が出来るはずです。そんな団魂の世代の人たちに、ライオンズクラブの活動を理解してもらい、積極的に入会の勧誘を推し進めたらどうでしょうか。
優秀な人材を確保することにより、クラブの斬新な刺激剤となり、とかくマンネリ化した既存のライオンズの在り方に新しい感覚とアイデアの波及効果を生み出し、クラブ活性のキーパーソンになるはずです。
今こそ、ライオンズの既成概念から脱皮し、会員資格の間口を拡大して、ライオンズ奉仕活動の視野を広げる絶好の機会だろうと思います。
「叩けよ、さらば開かれん」
彼らにライオンズの理念と情熱を。時間とエネルギーを傾け、熱心に語り続けていくことが重要です。ライオンズクラブが地域社会奉仕のリーダーとしての舵取りを認識、理解されれば、必ずや入会のモチベーションとなると確信します。

（歯科医師・69歳）

夢の「ハッピー・シルバー」構想

藤沢　誠（岩手県・藤沢岩手）

「ハッピー・シルバー」というのは私の造語で、「幸せな熟年者」を意味する、慈善事業の構想である。
では、どんなグループで、どんな活動をするものなのか。世界中にネットワークを張り巡らしているライオンズクラブの人道的救済事業が実施されているのに、なぜこのようなグループが必要なのか、ご説明しよう。
まず、私たちは、日本国における国民生活の現実に目を向けなければならない。経済の低迷はまだ続いている。国の財政は着実に赤字を増やし続け、公共事業のアンバランスな配分は、その無定見な予算措置と共に社会の活力を奪っている。
居住地の現状を直視した時、豊かさを享受していなければならない住民が、生活苦にあえいでいるではないか。収入が少なく支出が多いという状況は、自己破産者を増加させている。更に、二進も三進も行かず、自ら命を断つ生活者が後を絶たない。
日本において、大都会に人口が集中している。私が住む東北地方では、１００万都市の仙台を除いて、小都市は20万人から30万人そこそこ。町村が平成の大合併をしても、10万人の市が誕生しただけ。世の中は少子高齢化が加速され、5年後の国勢調査の時には、東北6県の全人口は東京都の１２００万人の半分程度だろうと予測されている。人口分布の不均衡は深刻な悩みである。
２００６年、我がクラブの新年会では、新還暦や古希（70歳）の仲間を祝いつつ、熟年者（シルバー）グループも結束を誓い合い気勢を上げた。その時、新春の放談として、ライオンズクラブの活動の分野にはないアクションを田舎町で行う必要があるのではないかという話になった。お金がからむことなので、独自のグループ「ハッピー・シルバー」の構想が自然発生的に頭をもたげたのであった。
その事業とは、こうだ。つまり私たちの人口一万人未満の山里の町は、農林牧畜業が主な産業であり、現金収入が定期的ではない。日々幾ばくかの現金での取引や生活用品購入の必要に迫られた時に「無利子」「無担保」で便宜を図る。
「ン？　金貸しをする？」
「こういうことはいろんな法律にひっかかるんだよな。違法な金貸しになっちまうよ」

かつては、地域住民の有志が現金を融通し合う「無尽（頼母子講）」というシステムが流行した。やはり生活苦から編み出した、人々の知恵だったのだ。それが平成の現代、歴史が繰り返されようとしている。

「ハッピー・シルバー」構想とは、65歳以上のシルバーが１００万円を持ち寄り、さしあたって10人で１千万円を基金として管理運用システムを立ち上げる。年中無休で１人１カ月10万円を限度として貸与するというものだ。

イラスト／小川和政

細かいことは省略するが、さすが熟年の知恵者のグループである。酒の上での話でも凄いアイデアが出てくるものだ。地方自治を特定のグループで経営しようではないかという憲法改正にもかかわる問題も出た。豊富な資金を持つある特定の団体が、住民自治を宣言した場合、行き詰まっている現行の町村制度が覆ることもありうる、ということまで語る者もいた。

「憲法改正とは戦争にかかわる第九条だけではないんだ。地方自治にもメスを入れないと、平成の市町村大合併のいい加減さがまかり通ってしまうぜ。国の地方への押し付けは身勝手なんだ」

「ハッピー・シルバー」という住民基金は実現しているわけではない。仲間は「あの世へお金は持って行けないんだから、各自の人生の事業として困窮者を救済する慈善行為に賛同しよう」という声が多い。

更には現実として、先祖伝来の田畑、森林、牧場を残し一家離散した。働き盛りの人物が命を断った。夜逃げしたという人たちも多い。いずれ、主のいない不動産や、動産資産の管理処分も「ハッピー・シルバー」の重要な業務にならざるを得ないと予想されるが、法律が立ちふさがっていて、行政も踏み込めない領域も多い。この夢の構想が地元住民の皆さんの賛同を得られるのかどうか。

「ハッピー・シルバー」の慈善事業アイデアをどう思われますか。

（文化団体役員・66歳）

ライオンズ・ライフと私

豊福 康子（岡山県・奈義勝北）

私の所属する奈義勝北ライオンズクラブ（20人）は岡山県東北部、中国山地の真ん中で、海抜約２５０メートル、北は日本海、南は瀬戸内海を眺望する日本原高原那岐山麓にある農村地帯です。クラブはこの地（奈義町と勝北町）を基盤として地元有志により結成され、15年目を迎え、地域密着型の奉仕を行っています。

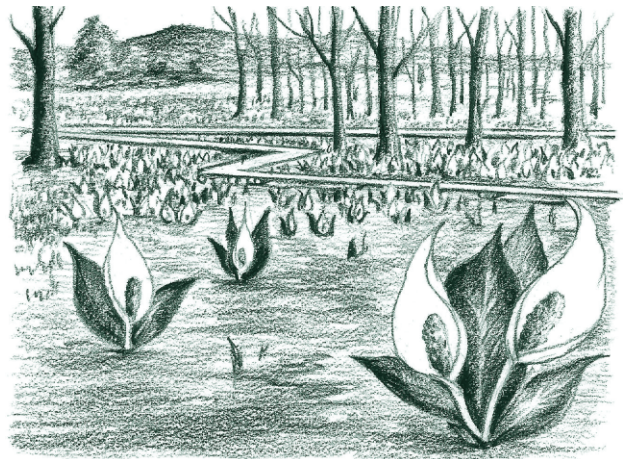
今まで、チャーター・ナイトと5周年は盛大に挙行しましたが、10周年はクラブ内だけの小規模な祝事と事業を行っただけでした。今期の15周年は会員一同で賛否をとり、式典を挙行することになりました。この記念の年に会長に任命されたことは、私にとって思い出深いものになりました。

式典準備は、「なるべく無理をしないこと、予算内で実施する、全員で協力すること、当日１００％出席しよう」を目標に進められま

した。最近の周年式典は、あまり華美にならないよう出費を抑え、招待もせいぜいリジョン内で行うことが多いと聞いております。が、我がクラブでは、出来るだけ多くの方々に出席して頂き、真心込めて、心温かい会にしたいと念じ、地区内102クラブにご案内させて頂きました。

ゾーン・チェアパーソンでもある福原昌弘大会委員長のリーダーシップにより、少人数ながらも協力し合って実行出来たことを心から感謝しています。

合田五一地区ガバナーを始め、赤堀和一郎、片山進、上原進3人の元地区ガバナーにもご出席頂き、本当に嬉しく感謝しております。また、遠く300-E1地区台湾・高雄からライオン張清雲（健国ライオンズクラブ）、ライオン曽秀鶯ご夫妻（健嬅ライオンズクラブ）、県外の大阪、広島も含め210人余のご出席を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

アトラクションは、私の子どもたちがボランティアで引き受けてくれました。三女は、亡父を看護しながら「ディアファーザー」という曲を作詞作曲。嫁がボーカルを務めるバンドが演奏して初舞台を踏みました。また、四女が指導している「DYCキッズ」もダンスで出演。ご父兄にも喜んで頂き、出演にも協力してくれました。

ライオンズは、家族の理解と協力が大切です。私には5人子どもがいます。結成当初から、現在のクラブに主人と一緒に入会したのですが、主人が突然の病で倒れ、看護のかいなく逝ってしまった時、私も退会しようと思いました。しかし、子どもたちが、「お母さんはライオンズの話をしている時がいちばんうれしそう。だから頑張って！」と理解し元気づけてくれたのです。また、宮本祥郎元地区ガバナーに「ライオンズに入ってたくさんのお友達を作りなさい」と、教えて頂いたこともしっかり実行しています。

岡山県・井原ライオンズクラブに所属されているライオン片山進は、93歳ながらも現役社長として活躍され、クラブの例会にも今なお出席されています。ライオンの鑑とも言える方で、お人柄がそのやさしい笑顔によくうかがえる立派なライオンです。

「ライオンズなんてつまらない！　商売の役に立たない！　入会したけど退会したい！」という声が、時々聞こえますが、氏のように生き生きと、自分で楽しくすることを心掛けてみてはいかがでしょう。

私の好きな一節です。

「たった一人しかいない自分が、たった一度しかない一生を本当に生かさなかったら、人間生まれてきたかいがないじゃないか」

私はこれからも、ライオンズ・ライフを十分に楽しみながら活動したいと思っています。それにはまず、健康に気をつけること。なるべく迷惑を掛けないで、主人のように、家族の顔を見てにっこり二度笑って最期を迎える人生となりますよう切望しております。

私のクラブ、日本のブラザー・クラブ、世界中の人々が幸せであることを祈願致します。

（書家・70歳）

例会終了15分前の快挙

南井 繁樹（滋賀県・近江守山）

近江守山ライオンズクラブの例会出席率は、平均で85％である。「例会を楽しく意義深く」を念頭においているが、それでも100％達成は悲願と言えるほど久しい。

平成18年2月の第1例会（1023回）は、出席委員会の岩佐滋久委員長のヒラメキから、100％出席が達成出来るのではないかという、漠然とした期待に始まった。その時点の会員出席状況で、3人も欠席届けが出ていたのにである。

普通100％例会は何カ月も前から準備し、会員に懸命なアピールをする。それでも当日、病気や急用、不慮の事故などで、大抵1人は欠席するものである。26年目の岩佐委員長も、43年目のチャーター・メンバー、L小林育三郎や、L藤井新一ですら、あまり記憶にない珍事なのである。

このような訳で、2006年2月9日（木）に開催される第1例会の前3日間は、委員長から3人の欠席予定者に対し、コンタクトがとられた。そして、いよいよ最後の1人になった時、「会長の力でお頼み頂けないか」との依頼があった。

私は早速、最後の1人となったL東浦彰に電話をすると、申し訳なさそうに「その日は会議があり、急いで帰っても8時前後になる」とのこと。例会時間は午後6時半から午後8時までである。

「それでは5分前ぐらいに入ってもらって、遅刻扱いということではどうか」と、委員長に相談。委員長も仕方なく同意してくれた。「しかし、8時を過ぎれば妥協出来ない」と厳しいお言葉。L東浦へのプレッシャーと共に、私自身のストレスも上がる。

例会当日の朝、「100％例会達成お願い」のファクスが入る。午前中、クラブ事務局で例会資料の準備をしながら、山本隆一幹事やアシスタントと話す。ひょっとすると、達成は無理か……不安がよぎる。無届欠席もあり、不達成の条件はいっぱいある。

例会場の琵琶湖プラザでは、着々と準備が進み、会員が出席してくる。6時30分の開会ゴング寸前には、何とL東浦を除いてすべての会員が着席しているではないか。例会はどんどん進み、食事タイムも始まり、緊迫感が漂う。出席率の発表が98％と無常に1名の不在を告げる。

例会終了15分前。岩佐委員長がバンザイをする。L東浦が間に合ったのだ。

待ちに待った例会100％出席達成の瞬間である。例会終了後、皆で写真を撮ろうと話がまとまり、この写真を添えて『ライオン』誌に寄稿することに決める。

千載一遇のチャンス。葬儀を欠席してくれたL渡辺忠雄、会議と宴会を欠席してくれたL間宮甚三郎、会議から急きょ反転してくれたL東浦に感謝。そして、51人の正会員に、心から感謝とお礼を申し上げたい。義理と人情に厚い近江守山ライオンズクラブの気質が、例会出席100％を達成させたのではないだろうか。

（呉服商・62歳）

「ロス・カボスというのは一体どこにあるんですか」
「ロス・カボスは、メキシコ領のカリフォルニア半島にあるんです。ちょうど『つらら』のような細長い形をしたこの半島は、長さが1600キロもある世界一長い半島なんです。その最先端に、砂漠とサボテンだけの乾燥した大地を緑化して、一大リゾートを作り上げたのがロス・カボスというところなんですよ」

　ボクの所属する東京関東ライオンズクラブのメンバーとそんな話をしているうち、ボクら夫妻はいつの間にか機上の人になっていた。ロサンゼルスで乗り換え、2時間ほどで現地に到着した。

　ボクらが行った12月は日中の気温が26度くらいで、夜になると上着が必要なほど冷え込むこともある。しかし空気が乾燥しているので、とても快適な毎日を過ごすことが出来た。この半島は北の端でアメリカ合衆国と接している関係もあって、やはりアメリカ人の観光客が多く、ボクらが泊まったホテルもアメリカ人好みの近代的な建物だった。外観も強烈な色彩のコントラストに塗り分けられていて、トロピカルなムードに輝いている。

　その真上にあるデラックスなオーシャン・フロントに部屋をとり、バルコニーから外を眺めると南国の強烈な太陽に照らされて、群青色の大海原が、果てしなく広がっている。

強烈な色のコントラストがトロピカルに光る（ロス・カボスのホテル）

そういえばここはマリン・スポーツのメッカとしても有名で、ダイビングやトローリングをエンジョイすることも出来るのだ。

　ところでアメリカ人は1日中ビーチで日光浴や本を読んだりして毎日を過ごしたりしているが、ボクら日本人には、その心理がよく理解出来ない。本を読むのなら、何もここまで来なくても家で読んだらいいじゃあないか！　せっかくこんないいところに来たのに、名所の見学もしないで毎日を過ごしているのは「もったいない」と思わないのかなあー。まあこれは国民性の違いかもしれない、などと思ったりして。

　ボクらはマリン・スポーツなんかしないで（本当のことを言うと、出来ない！）、じっとしていても「もったいない」ので、リゾートから車で20分くらい行ったところにある小さな街サンホセ・デル・カボに行ってみることにした。ここへはホテルからシャトルバスが出ているから便利だ。着いてみると、街にはいろいろな土産物店やレストランが並び、家々はスペイン風の原色に彩られて異国情緒が漂っているので、散策するだけでも楽しいところだ。

　また、付近には五つのゴルフ場もあり、サボテンが生えている中でのプレーは珍しいので、ゴルフ好きの方にはもってこいだ。もし今度、アメリカなどに行かれる際には、ぜひロス・カボスに寄られてみたらいかがだろうか。

俳壇

■選者　森　澄雄

【特選】

金剛峯寺屋根厚く積む涅槃雪　（兵庫県・西脇）高瀬　博子

（評）高野山は金剛峯寺の別称であると同時に、「内外八葉」と呼ばれる峰々と、それらに囲まれた平地や谷の総称でもある。屋根に厚く涅槃会（陰暦2月15日）の前後の雪が降り積んでいる。

清涼寺古都の闇焼きお松明　（大阪夕陽丘）角野桂治郎

（評）京都市右京区嵯峨釈迦堂藤ノ木町の浄土宗、山号五台山。源融（とおる）の山荘栖霞寺（せいかじ）内に寛和2（986）年、東大寺の僧奝然（ちょうねん）が宋から将来した釈迦如来像をまつるため、その門弟盛算が釈迦堂を建てたのが起こり。奝然が生前、愛宕山（あたごさん）を唐の五台山に擬して大清涼寺を建てようとしたことから、釈迦堂は清涼寺と呼ばれた。本尊の釈迦如来像（国宝）は胎内に奝然の瑞像造立記などの文書、御経を納め、清涼寺式と呼ばれるインド風の容姿を持つ。「嵯峨の釈迦堂」として親しまれ、3月15日御松明（おたいまつ）式が行われる。

（応募要領→63ページ）

【入選】▼

逃水の中へ逃げ行く追越車　（青森県・五戸）吉田　晶二

うぐいすの声に目覚むる朝ぼらけ　（岩手県・藤沢岩手）藤沢　誠

雪解水集め北上川滔々と　（岩手県・花巻東）竹田　功

榛名山全容見えぬまで霞む　（群馬県・高崎）瀧澤　淳

いにしへを偲びて歩く京の寺　（神奈川県・大和中央）小川　智子

盆梅の齢は知らず紅き花　（愛知県・名古屋樟）髙橋　忠男

信濃路の湯巡りに遇ふ春の雨　（愛知県・西尾）牧　孝

猫柳乱れ咲きをる川辺かな　（愛知県・岡崎葵）椙田　錦吾

土雛の衣裳の色の艶やかに　（愛知県・高浜）岩月　三則

蕉翁を偲ぶよすがの庵の梅　（三重県・伊賀上野）豊岡はつ子

松明（たいまつ）を担ぎて走るお水取　（三重県・松阪はなしょうぶ）大西　さよ

縫ひ終へて糸噛む妻や寒の夜　（静岡県・浜松）宮澤　廣

戦場と地震くぐりし雛祭る　（兵庫県・神戸シニア）中村麦芽子

車窓いま白山連峰雪催ひ　（大阪カトレア）乾　周子

風花に松明走る二月堂　（大阪府・池田）池内　彰

歌壇

■選者　春日真木子

【特選】

娘のアリア舞台遠くに夫と聞くオペラグラスを渡し合ひつつ
（千葉県・館山中央）荻野　貴子

（評）「舞台遠くに」とあるから、大きなホールであろう。娘の晴れ舞台、アリア、オペラのなかの独唱を、期待しつつ半ば案じつつ聴く作者。夫と「オペラグラスを渡し合ひつつ」の具体的な動作が、読み手の目にも見えてくるようだ。つづいての投稿歌は「ステージの光の中に立つ吾娘のアリアは徐々に広がりてゆく」とある。光の中に広がるアリアに、作者の胸にも喜びと安堵が広がったであろう、その実感が籠もっている。一行の短歌に実感の滲み出る強みを感じたのである。
今号は、加藤、高橋両氏の発想にも注目した。

（応募要領→63ページ）

【入選】▼

懸命に手を振り滑る五百メートルマニキュアされし指美しき
（北海道・訓子府）吉野　良子

生と死が向き合うように転がして林檎の皮を赤白に剥く
（青森まほろば）加藤　捷三

滑りやすく鏡のように光る道残し除雪車過ぎてゆきたり
（青森県・五戸）吉田　晶二

アラビアのやうなる今宵ぞ明星が生みし黄金の手術針月
（青森県・弘前チェリー）高橋　修一

リタイアせし人等住みゐる丘の街一軒のみに赤児の声あり
（千葉県・房総勝浦）君塚　一雄

残業の部屋の玻璃ほど輝いて己が姿の映し出される
（千葉県・流山）皆川　春安

花柄のスカーフに包む脱毛の癌病む友はまあるく笑まう
（石川県・羽咋）竹津　弘子

くりくりのひひなのかんばせ匂ふなり緋を差しそめしつぼみの椿
（兵庫県・加美）藤田紀久子

本堂の敷石に身を屈（くぐ）めつつお数珠頂く冷気の中を
（兵庫県・山崎）竹田　長司

愛おしやこの夕映えの静かなる空に響きて鈴の鳴る音
（大分県・中津沖代）松本　達雄

柳壇

■選者　大木俊秀

【特選】

汗しない金が世の中騒がせる　（岩手県・藤沢岩手）及川　平一

（評）汗しない金とは、正当な労働をすることなく手にした金である。つまり、あぶくぜに、悪銭。悪銭身に付かず、のことわざの通りの事例が、すこぶる大きい規模で起きたのは記憶に新しいところだ。しかも、害を世の中に広く及ぼした罪は、きわめて大きい。

順番を違えた妻の墓洗う　（千葉県・東庄）藤﨑　久男

（評）普通だったら「先立った妻」としてしまうところを、「順番を違えた妻」と巧みな措辞を用いて作品を際立たせた。俺の方が先に逝く順番と思っていたし、またその心算であとをよろしくなと約束していたのに、と亡妻をおもう情がしみじみ伝わる句である。

（応募要領→63ページ）

【入選】▼

過去だけがいっぱい詰まる遠い耳　（青森県・五所川原）坂本　憲昭

泣かされた雪が真夏の水資源　（青森県・弘前中央）高橋　敬

自画像に逢える鏡を拭いてみる　（新潟県・見附）宇之津滋朗

演技力無いと社長は務まらぬ　（栃木県・西那須野）佐藤　嗣人

トンネルの出口が見えぬ年金者　（千葉県・船橋シニア）灘山　徳治

肉買えば変な骨までついてきた　（千葉県・流山）皆川　春安

戦わず雪と馴染んで来た暮らし　（福井県・敦賀みなと）田中　信幸

独房の壁に株価を書き列ね　（兵庫県・宝塚グリーン）中島　弘風

一線を退くや退かぬや姿見に　（兵庫県・和田山）笠谷　忠

温厚な君にも居たか腹の虫　（京都鴨川）栩谷　四朗

髷乱れ息も乱れてインタビュー　（鳥取県・倉吉打吹）福井　耕児

弁当の真ん中にいる赤い梅　（鳥取県・倉吉打吹）田原隆之助

渡り鳥そんな寂しい顔するな　（島根県・松江湖城）長谷川　孝

大安に式を挙げたいクリスチャン　（宮崎橘）井上　忠一

疑えば味方は遂に我一人　（長崎県・佐世保西）神谷　治雄

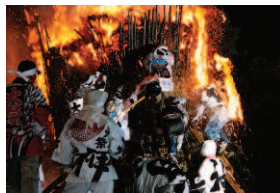
MY BEST SHOT

選：河相正名（日本写真家協会会員）

松下正治
大阪梅田新道
［春近し］

●選評
遠景に残雪の山並み、近景には黄色い菜の花を一面に配し、早い春の訪れを見事にとらえている。中景の人物の大きさもバランス良く、春を感じる空気感が気持ち良く伝わって来る。手前の花をアウトフォーカスにしたことで、より遠近感が表現されている。

優秀作

木村文丸　青森県弘前
［お堀の桜］

犬塚百合子　愛知県碧南
［火祭り］

岩佐清　岐阜県高山
［雪降り］

菊野善之助　愛媛県松山
［翁草］

横内孟（山梨県南アルプス）［雨後の尾瀬沼］
菊地洋三（青森県田舎館）［スタート］
山田隆（群馬県境）［朝焼け］
安藤正一（愛知県豊田）［禊ぎ］
畔柳東一（愛知県岡崎竜城）［踊り］
団英男（兵庫県神戸レインボー）［青］
徳田修（大阪難波）［朝霧高原の秋］
吉野耕司（京都府宮津）［寒風に負けず］
上野春夫（広島県三原）［巫女さん］
重藤一美（広島県甲山）［サンセット］
山野智要之亮（広島あさひ）［夏の思い出］

全作品は国際協会公式ウェブサイトでご覧頂けます。　http://www.lionsclubs.org/JA/TheLion/MBS/index.html

LIONS GALLERY

［ベネチア・サンマルコ広場］はがき絵

10年ほど前は、流木に絵を描いたり、小さなスケッチブックに旅先や近くの風景を描いていましたが、最近は、はがき絵を描いています。

小さな枠の中に大きな風景を描くには、細かいところを省いて、大きくとらえることが必要です。なかなか難しいのですが、それがとても楽しいのです。

そうしたものの見方が身に付いたからでしょうか。今期は「みんなが和」を掲げる皆川（みながわ）春安333・C地区ガバナーの下で会計を務めて忙しいのですが、大変楽しく過ごしています。

ベネチアは一度行ったら病みつきになるほど素敵な街です。あまりの美しさに、なかなか絵を描けなかったほどです。

（たかぎ　つぎお・64歳）

髙木次雄
千葉県·野田ライオンズクラブ
キャビネット会計
指圧整体師

伝言板

ロシアのライオンズクラブから

ロシア・サンクトペテルブルクのライオンズクラブから、『ライオン』誌日本語版への掲載を希望する、次の内容の手紙が届きました。

「親愛なるライオンズの皆さん

サンクトペテルブルクのライオンズは障害者と保護者の送迎を定期的に行っています。障害のある人たちが乗り降り出来るバスはレンタルで調達しています。スヴォーロフ軍事学校の生徒たちがよく手伝ってくれて、現在は毎月約150人の障害者のお手伝いをしています。しかしレンタルのバスに掛かる費用は大変高額です。

そこで、私たちはバスを購入するために、LCIF国際援助交付金を申請するパートナーになってくれるクラブを探しています」

関心のあるクラブは左記にご連絡ください。

THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF LIONS CLUBS
REGION CHAIRPERSON
VICTOR CHIZHUKHIN
198152 St.PETERSBURG
NOVOSTROEK 27-17, RUSSIA
e-mail:greatbear@spb.lanck.net

また、クラブのホームページもご覧ください。

http://olenegorsk2003.narod.ru
http://greatbear.lionwap.org

クラブ会員刊行物

●学校に於ける薬物乱用防止教室マニュアル

著者／寺田良和（東京鶯谷ライオンズ[クラブ]）　発行／(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター（TEL 03・3581・7436）

学校に於ける薬物乱用防止教室マニュアル

B5判　本文59[ページ]
100円

ライオンズクラブと麻薬・覚せい剤乱用防止センターが共同認定している、薬物乱用防止教育認定講師の養成講座で使用されるテキスト。講師として学校での講義の進め方や、パワーポイントによる資料を網羅。

●2005アクティビティ　薬物乱用防止教室

編集・発行／青森県・弘前東奥ライオンズ[クラブ]（TEL 0172・32・8929）

2005 アクティビティ
薬物乱用防止教室
たばこ、酒、麻薬

A4判　本文20[ページ]
非売品

同クラブが05年に行った薬物乱用防止教室の総括。対象学校数7校、受講生徒数1503人。授業風景の写真や、受講した生徒たちの感想も掲載。

訂正とお詫び

本誌4月号において以下のような誤りがありました。

18[ページ]「ライオンズ・ニュース・カセット／ペナン・フォーラムの第1回ステアリング委員会開催」の記事で、日本からの出席者の中に、菊地伸治前フォーラム組織委員長（元国際理事）のお名前がもれていました。

20[ページ]「ライオンズ・ニュース・カセット／LCIF活動報告」の表組中、「支出及び損出／事業関係支出／交付金」の科目で、「大災害援助金」と「用途決定済み」が逆になっていました。正しくは大災害援助金：249,890[ドル]、用途決定済み：7,390,534[ドル]です。

関係各位にご迷惑をお掛けしたことをお詫びし、訂正致します。

➡ライオン誌事務所来訪者芳名録

月日	クラブ	氏名
3 2	広島県竹原	平繁　博実
3 6	茨城県土浦	髙橋　義尚
3 16	東京目黒	伊原　勝彦
3 16	東京恵比寿	荘　英隆
3 16	神奈川県横浜金港	小柴　登司
3 16	埼玉県大宮氷川	深見　秀雄
3 17	岩手県藤沢岩手	佐藤　滝雄
3 17	岩手県藤沢岩手	千葉登美夫
3 17	岩手県藤沢岩手	千葉　均
3 17	岩手県藤沢岩手	高橋義太郎
3 17	神奈川県横浜戸塚	山内　悟
3 23	島根県松江湖城	荒木八洲雄
3 31	東京紀尾井町	渡辺　豊隆
3 31	千葉県四街道	楠岡　巖

読者から

▼本誌へのご意見・ご感想をお寄せください。
編集部

情報伝達が肝要

●3月号「THEME／災害救援ネットワーク」の記事を見て、中越地震時のタオル送付を巡って混乱したことを思い出す。当336・B地区では「災害援助チーム」が発足した。情報伝達の大切さは災害時のみに限らず、日常でも然り。我がクラブの特徴の一つは、例会ごとの会報発行で、会員内の情報も的確につかめる。会員90人を有するクラブとしての努力の一つでもある。『ライオン』誌の情報も早い。頼もしい。配偶者入会金免除もこの3月号で知った。

岡山県・西大寺●小林裕

沖縄の風が吹いてきた

●『ライオン』誌は世界の出来事から身近なことまで幅広く、しかも緻密に編集されているので、どのページを開いても興味があり、いつも例会で手渡されるのを心待ちにしています。特に「ふるさと探訪」は地域に根ざした会員の活動も生き生きと紹介されていて、とても楽しく、また勉強になります。3月号の壺屋やちむん通りは私も大好きな場所で、何度か訪れました。登り窯の隣の茶房で涼風を受けながら飲んだコーヒーを思い出しました。

大阪桜之宮●西芝圭亮

もう、1ページ

●「こころのチキンスープ」は読むたびに、忘れかけていた涙で心が洗われる。女子事務員に気付かれぬように、鼻をかむふりをして涙をぬぐう、60代半ば。厚沢弘陳の「ボクの見てきた160カ国」は、ほとんど自分の庭から外へ出たことのない私にとってはなんとうらやましい人生か。目を見張るような素晴らしい世界が飛び込んでくる。一気に読む。次のページをめくる。あれ、もう終わり？ 仕方がないのでアタマからもう1度読み返す。まだまだ読み足りない。もう1ページ、何とかなりませんか？

北海道・岩見沢グリーン●柴田薫

ライオン誌投稿要領

▼応募資格に特に記載のない場合は、ライオンズ、ライオネス、レオクラブ及びその会員と家族。
▼締切の記入のないコラムは随時受付。誌面の都合で編集したり、掲載出来ない場合があります。原則として原稿の返却はいたしません。
▼Eメール投稿は、文字原稿及び写真データ（長辺1,600ピクセル程度／JPEG最高画質）。
▼いずれも住所、氏名、クラブ名を明記。

■「こころのチキンスープ・ライオンズ編」 4月号26～27ページ
●ライオンズにまつわる感動的なエピソードの概略、あるいは1,200～2,000字程度の原稿。ストーリーは本誌ライターが書き下ろします。

■「サービス・アクティビティ」 30～31ページ
●活動日、場所、100文字程度の説明文を付記。写真はプリント（サービス判くらい）及びデータで、動きのあるもの、内容が一目で分かるもの。
●ServanmAの「ライオン誌投稿」欄もご利用頂けます。

■「クラブ・リポート」 32～36ページ
●アクティビティ、例会など、クラブの活動を具体的に800字程度で。新聞記事は新聞名、掲載日を付記。関連写真があれば添付。

■「獅子吼」 51～55ページ
●会員及びその家族によるエッセー、提言など。1,600字程度。職種、年齢を明記。
●題字はハガキ程度の大きさ。

■「俳壇」「歌壇」「柳壇」 57～59ページ
●一人ハガキ1枚に3句／首まで。締切：毎月15日。

■「MY BEST SHOT」 60ページ
●会員及びその家族でアマチュア。
●応募作品：題材は自由。プリント（サービス判～キャビネ判ぐらい）、スライド（35ミリ以上）、またはデータ（JPEG最高画質）。1人5点まで。
●プリントは写真の裏に紙を貼り、スライドには必ずマウントをつけ、データはメールの添付書類で本文に、氏名、クラブ名、年齢、題名、撮影場所、撮影年月日、住所、電話番号を明記。返却希望の場合は、住所、氏名を記入した返信用封筒に切手を貼り同封。締切：毎月15日。

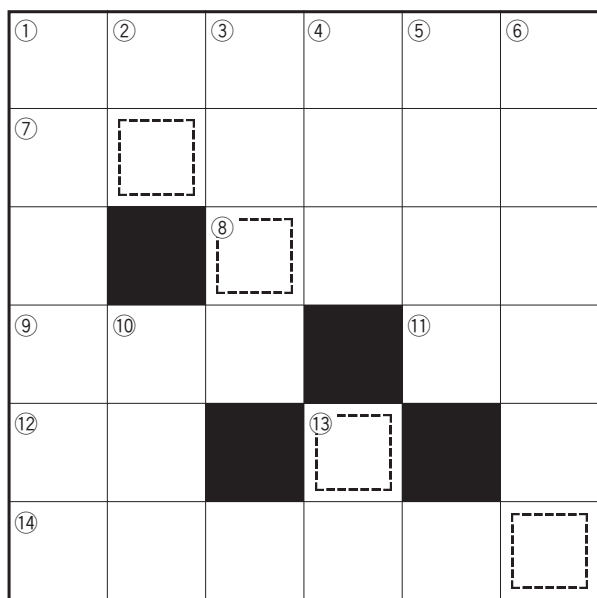
■「ライオンズ・ギャラリー」 61ページ
●会員及びその家族。プロ、アマ不問。
●応募作品：絵画、版画、工芸／題材は自由。作品のスライド・フィルムか、カラー・プリント（キャビネ判）。氏名、クラブ名、年齢、職種、作品のサイズ、題名を明記し、作品に関するエッセー、自評など（400字程度）、顔写真を添付。

■「リーダース・プラザ」 62～63ページ
●クラブ会員刊行物：クラブ並びに会員が刊行された出版物を1部送付。
●伝言板：読者間の情報交換に。
●読者から：本誌への意見、感想など。

送り先：〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階 ライオン誌日本語版事務所 各コラムあて
ファクス：03-3546-2630
Eメール：edit@thelion.jp

クロスワードパズル

点線に入る文字をヒントを基に並べかえてください。正解者の中から10人の方に記念品を差し上げます。ハガキに答えと氏名、クラブ名、住所、電話番号、本誌の感想を書いてご応募ください（あて先は63ページ）。締切は2006年5月20日。

①	②	③	④	⑤	⑥
⑦	[ ]				
	■	⑧[ ]			
⑨	⑩		■	⑪	
⑫		■	⑬[ ]	■	
⑭					[ ]

解答 □□□□　ヒント：例会に遅刻したら笑顔でハイ！

↓タテのカギ

①才能や技量の優劣を競うこと。

②地中に打ち込んで、目印や支柱にする棒。この言葉を使った例えでよく使われるものに、平賀源内の「出る●は打たれる習ひ」がある。

③結婚式や開店など、この日を選ぶ人が多い。

④江戸中期、オランダ人により伝来したもので、筆記や印刷などに使う色のついた液体。

⑤寄り合いをする場所。

⑥開拓などの目的で、ある土地から他の土地へ移動・定住した集団。

⑩鉄道線路の内側の距離。

⑬条件や立場が、相手より良くないこと。

←ヨコのカギ

①地区ガバナーの選出などを行う。

⑦MERLのR（リテンション）。

⑧あいさつとして行う行為。和解することの例えとしても使われる。

⑨その人にとって言いにくいことを敢えて言う忠告。

⑪美しい調べを聞いてなる人も、乗り物に乗ってなる人も、またお酒を飲んでなる人も。

⑫古代エジプトの太陽神。

⑭菜食主義者。

■前回の答え

シ	ヨ	ク	イ	ク	■
ン	■	ギ	モ	ン	フ
セ	ケ	ン	■	レ	イ
イ	ン	■	リ	ン	ギ
キ	ダ	オ	レ	■	ユ
■	マ	レ	ー	シ	ア

答えは「代議員」

読者プレゼント

■木彫りの人形とポストカードのセットを7人の読者に

5月号付録「LCIF特集号」で紹介したLCIFスタディ・ツアーの関連グッズをセットで7人の読者にプレゼントします。

1点目はタイのライオンズクラブから、日本の会員へお土産として預かった木彫りのマナティです。テップタロという、オイルが採れる香木を彫ったもので、幸運のお守りだということです。

もう1点は、タイ・チェンマイ郊外にあるHIV感染孤児のための生活施設「バーンロムサイ」の子どもたちが描いた絵のポストカードです。日本の若手アーティストたちが、ボランティアとしてバーンロムサイに赴き、創作活動を支援しており、いきいきとした作品ばかりです。

EDITOR'S ROOM

■江差追分人形を5人の読者に

「ふるさと探訪」(43ページ)に登場した北海道・江差ライオンズクラブから、本文中でもご紹介した福福屋の江差追分人形が5人の読者にプレゼントされます。情緒豊かな江差追分の調べに乗せて、北海道の伝統織・厚子を身にまとった女性たちが優雅に踊る追分踊り。昔、松前藩の殿様がアイヌのメノコ（女性）を集めて踊らせたのが始まりとも言われています。踊るメノコのかわいらしい人形です。

■グリーン・アスパラを5人の読者に

「トピックス」(41ページ)に登場した北海道・名寄ライオンズクラブから、名寄特産のグリーン・アスパラが5人の読者にプレゼントされます。

収穫までに3年掛かるグリーン・アスパラ。豊かな大地の栄養がいっぱい詰まっています。道北にあり、昼夜の寒暖の差が大きい名寄のアスパラは甘さも十分。産地直送、旬のグリーン・アスパラの醍醐味をお楽しみください。

プレゼント応募要項

はがきに郵便番号、住所、氏名、電話番号、クラブ名と「タイ」「追分人形」「アスパラ」とご希望の品を明記し、下記のあて先へ。本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。締切は5月末日。応募多数の場合は抽選となります。当選のお知らせはプレゼントの発送をもって代えさせて頂きます。

ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045
東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階

ウェブサイトからの応募
www.lionsclubs.org/JA/content/thelion_present_form.html

次号予告

THEME
ミニ・フォーラム検証

昨年10月に開かれた仙台OSEALフォーラムで、ミニ・フォーラムの一つとしてライオン誌日本語版委員会が主催した「明日のライオンズを考える」。日本ライオンズが抱える問題について率直な意見交換が成されたが、更に明日への糧を得るために、参加者、主催者双方の意見を聞き、ミニ・フォーラムを振り返る。

ROAR・ローア
――まるごと332複合地区

6月号は332複合地区特集。「ふるさと探訪」は福島県・会津若松を訪ねる。日本有数の漆器の産地、会津。400年の伝統を誇る会津漆器は、塗り、蒔絵、沈金、漆絵などさまざまな伝統の技術を受け継ぎ、美しい工芸品が作られる一方で、普段使いの椀や盆など日常の生活の中でも人々に愛されてきた。また、華やかな絵柄が武家社会で珍重されてきた会津ろうそくも紹介する。「表紙シリーズ・日本の風景」は秋田県藤里町。

Pick up
コーチング

コーチと選手の信頼関係を基盤に選手の力の向上を図るコーチング。国際協会もライオンズ活性化の手段として注目する。どのようにこれを取り入れ、効果的に活用することが出来るだろうか。

Official publication of Lions Clubs International.

We Serve

Published by authority of the Board of Directors in 21 languages - English, Spanish, Japanese, French, Swedish, Italian, German, Finnish, Korean, Portuguese, Dutch, Danish, Chinese, Norwegian, Icelandic, Turkish, Greek, Hindi, Polish, Indnesian and Thai.

EXECUTIVE OFFICERS
President, ASHOK MEHTA, 13/5, Avanti Apts., Sion East, Mumbai 400-022, India; Immediate Past President, CLEMENT F. KUSIAK, 6302 Homewood Road, Linthicum, Maryland, 21090-2108 USA; First Vice President, JIMMY M. ROSS, P.O. Box 368, Quitaque, Texas, 79255 USA; Second Vice President, Mahendra Amarasuriya, 70 Fife Road, Colombo 5, Sri Lanka.

DIRECTORS
LUIS ALFREDO ALMANSA, Bogota, Colombia; WILLIAM ANDERSON, Hanover, Pennsylvania, USA; ROY H. BARNETTE, South Carolina, USA; SEBASTIÃO BRAGA, Belo Horizonte, Brazil; RICHARD P. CHAFFIN, Forest, Virginia, USA; ROBERT J. EICHHORN, Metairie, Louisiana, USA; CLAUS A. FABER, Germany; H. DAVID FIANDT, Indiana, USA; WILLIAM J. CRAWFORD, Encinitas, California, USA; RYU FUSHIMI, Kanagawa, Japan; TERRY DALE GRAHAM, Ontario, Canada; LUIS GONZALO GUERRERO CARRASCO, Ecuador; WAYNE HEIMAN, Wisconsin, USA; CLIFFORD S.A. HEYWOOD, Takapuna, North Shore City, New Zealand; PROF. JAN A. HOLTET, Rasta, Norway; MIKLOS HORVATH, Hungary; SHEIKH KABIR HOSSAIN, Bangladesh; DR. MIKIO ISHIBASHI, Hokkaido, Japan; HOWARD A. JENKINS, Mississippi, USA; SOMSAKDI LOVISUTH, Bangkok, Thailand; SERGIO MAGGI, Bari, Italy; ROBERT WILLIAM MOORE, New Jersey, USA; DON REESE, Eunice, New Mexico, USA; DUR ROBERSON, Oak Harbor, Washington, USA; BEVERLY A. ROBERTS, Georgia, USA; MAYNARD WARREN RUCKS, Henderson, Minnesota, USA; MANOJ SHAH, Kenya; L. DOUG SIME, Massachusetts, USA; A.P. SINGH, Kolkata, India; PHILLIPPE SOUSTELLE, France; KEE-JUNG WOO, Daegu, Republic of Korea; Dr. JITSUHIRO YAMADA, Gifu, Japan; ERNEST YOUNG JR., Lansing, Kansas, USA.

Lions Clubs International Headquarters
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA
TEL.(630)571-5466 FAX.(630)571-8890
Web site: www.lionsclubs.org

ライオン誌日本語版委員会
国際理事　石橋幹雄・伏見龍・山田實紘
委員長　荒川隆志(331)
編集長　中田勝昭(335)
委　員　中島洋吉(330)・菊池清二(332)
笹本瞭(333)・砂田繁雄(334)
尾崎明雄(336)・佐々木智英(337)

ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階
TEL.(03)3542-9571(代)　FAX.(03)3546-2630
E-mail. edit@thelion.jp

編集室

4月号からの誌面刷新と5月号付録

ライオン誌
日本語版編集長
◉
中田勝昭

『ライオン』誌日本語版は4月号から誌面刷新を図りました。また、この5月号では付録としてLCIF特集号を作成し、本誌に同封致しました。

ここ数年、会員数の減少や、景気低迷による広告料収入の減少などで、ライオン誌日本語版事務所の運営は赤字が続いていました。そのために、歴代の委員会ではページ数の縮小、取材等製作費の削減、事務所スタッフの減員など、さまざまな経営努力を重ねてきました。その中で昨年度は国際協会からの補助金が1・25ドル上がり、久々に黒字に転換しました。

更に今年度上半期は、前年より収入が370万円の減少を見たにもかかわらず、人件費を始め印刷費、製作費など約1400万円の経費削減により、1030万円の剰余金が出ました。

この結果を基に、当委員会では下半期の運営について協議をし、特別負担金の減額を含め、さまざま案を検討しました。が、ここ数年、本誌製作費を抑制してきたことと、歴代委員会が経営努力を重ねてきた経緯を踏まえ、誌面の充実により読者還元を図る道を選択しました。

それには、国際協会補助金の値上げが恒久的なものではないこと、また現在の円安傾向が円高に転じる可能性など、不安定要素が多いことも影響しております。5月号付録は、あるテーマに絞った保存版としての機能と同時に、不安定要素がある中で、実質的増ページを図るという意図も持っています。

また、今回の誌面刷新は見た目ばかりでなく、記事中全ページの紙質及び印刷形式を同じにすることで、誌面編成に柔軟性を持たせることを可能にしました。サービス・アクティビティ欄の復活により、出来るだけ多くのクラブを誌面で紹介する工夫も施しています。

今後も当委員会では、読者の皆様に愛され、親しまれる『ライオン』誌作りを目指して、努力していく所存です。皆様もお気付きの点がございましたら、どうぞ忌憚のないご意見を当委員会あてにお寄せください。

ライオン誌五月号

昭和三十三年十二月十九日付第三種郵便物認可　定価百八十円　送料実費七十六円

二〇〇六年(平成十八年)四月二十日発行　毎月一回二十日発行　第四十八巻第十一号

発行所　ライオンズクラブ国際協会ライオン誌日本語版事務所　〒一〇四―〇〇四五　東京都中央区築地二―一―一　築地細田ビル七階　Tel(〇三)三五四二―九五七一

印刷所　凸版印刷株式会社